

第2次小郡市地域福祉計画・地域福祉活動計画策定にかかる  
『市民ワークショップ』『市民団体ワークショップ』

# 「おごおり福祉トーク！」

## 【結果報告書】



平成 31 年 3 月

小郡市・小郡市社会福祉協議会



# 目次

---

1	ワークショップの概要.....	1
	(1) ワークショップの目的.....	2
	(2) ワークショップのテーマ.....	2
	(3) ワークショップの開催スケジュール.....	2
	(4) ワークショップの全体像.....	3
2	ワークショップの手法.....	4
	(1) ワークショップとは.....	5
	(2) 「ワールド・カフェ」とは.....	5
3	ワークショップ結果の総括.....	8
4	ワークショップ内容のまとめ(第1回・第2回市民ワークショップ).....	13
5	ワークショップ内容のまとめ (市民団体ワークショップ).....	68
6	市民団体ワークショップ 参加団体リスト.....	112



---

# 1 ワークショップの概要

---

## (1) ワークショップの目的

小郡市では平成30年度から2か年にかけて、地域共生社会の実現に向けた、第2次地域福祉計画・地域福祉活動計画を策定します。計画の策定にあたって、広く市民団体の皆様の意見を反映するため、また、第2次小郡市地域福祉計画・地域福祉活動計画の策定を通じて、これからの小郡市の福祉のあり方をみんなで考え、市民との協働によるまちづくりを進める機会として、みんなで語り合う「ワールド・カフェ方式」のワークショップを実施しました。

## (2) ワークショップのテーマ

テーマ：「みんなで“ふだんのくらしのしあわせ”についてかたろう！」

ワークショップのテーマについては、市民の皆様が身近な地域福祉について、気軽に思いや考えを自由に語り合うことができるよう、「みんなで“ふだんのくらしのしあわせ”についてかたろう！」と設定しました。

## (3) ワークショップの開催スケジュール

	開催日時	場所	参加人数・参加団体数
第1回 市民ワークショップ	平成30年 11月18日(日) 10:00~12:00	小郡市総合保健福祉センター 「あすてらす」多目的ホール	49名
第2回 市民ワークショップ	平成30年 12月1日(土) 10:00~12:00	小郡市総合保健福祉センター 「あすてらす」多目的ホール	51名
市民団体ワークショップ	平成31年 1月26日(土) 10:00~12:00	小郡市総合保健福祉センター 「あすてらす」多目的ホール	30団体・50名 ボランティア連絡協議会(8団体) ボランティア情報センター登録団体(6団体) 市内関係団体・ボランティア団体(7団体) 高齢者福祉分野(2団体) 子育て支援分野(3団体) 障がい児・者福祉分野(4団体)

## (4) ワークショップの全体像

「みんなで“ふだんのくらしのしあわせ”についてかたろう！」を、各ワークショップの共通テーマに位置づけ、各回で明確にテーマを設定しました。

### おごおり福祉トーク！

#### ①参加者（対象）

（市民ワークショップ）

市民

（市民団体ワークショップ）

普段、福祉の現場に従事されている方（各種福祉関係団体）

※定員：50名程度

#### ②ワークショップ

（市民ワークショップ）

第1回—小郡市の“いいところ”、“もっとよくなりたいところ”について

第2回—“自分にできること、みんなでできること”について

（市民団体ワークショップ）

小郡市の「いいところ」「よくなりたいところ」について「良いところ」を伸ばし、「良くなりたいところ」を改善する取り組みについて

【市民ワークショップ語り合い風景】



---

## 2 ワークショップの手法

---

## (1) ワークショップとは

ワークショップとは、先生や講師から一方的に話を聞くのではなく、参加者が主体的に議論に参加し、言葉だけでなくからだやこころを使って表現や体験をしたり、相互に刺激し合い学び合う、グループによる学びと創造の方法です。

今回は「ワールド・カフェ方式」という手法で実施しました。

## (2) 「ワールド・カフェ」とは

「知識や知恵は、管理されがちな会議室で生まれるのではなく、人々がオープンに会話をし、自由にネットワークを築くことのできる“カフェのような空間”でこそ創発される」という考え方に基づいた、話し合いの方法の一種です。



### ○特徴

- ・ アイデア出しをする際に効果的な手法です。
- ・ 年齢や職業にとらわれない、参加者同士の自由な対話を行えます。
- ・ 本物のカフェのようにリラックスした雰囲気の中で、テーマに集中した対話が可能です。
- ・ 自分の意見を否定されず、尊重されるという安全な場で、相手の意見を聞き、つながりを意識しながら自分の意見を伝えることにより生まれる「場の一体感」を味わえます。

### ○手順

ワールド・カフェの基本手順は次の通りです。

#### ①はじめに座った席での話しあい【第1ラウンド】

4～6人で1つのテーブルに着席し、出されたテーマについて自由に話し合います。その過程では、テーブルに敷いてある模造紙に自由にメモを書き込んでいきます。



【第1ラウンドの様子】

## ②テーブルにつき1名を残して別々に移動

時間がきたら第1ラウンド終了です。1名だけ“テーブルホスト”として、テーブルに残ってもらいます。他の方は“旅人”として、別々のテーブルへ移動します。

## ③次に座った席での話しあい【第2ラウンド】

続いて、新たに集まったメンバー4～6人で1つのテーブルに着席し、出されたテーマについて自由に話し合います。

はじめにテーブルホストより、そのテーブルで行われた話し合いの概要を説明し、それぞれ新たに集まったメンバーからは各テーブルで出した内容を簡単に説明します。

第1ラウンドと同様に、その過程では、テーブルに敷いてある模造紙に自由にメモを書き込んでいきます。

## ④最初に座った席での話し合い【第3ラウンド】

最初に座った席に戻り、テーマに基づいて、ラウンド1、ラウンド2で得られた発見や気づきを共有し、話し合いを深めます。

## ⑤「まとめ」のカードやシートに重要なことを記入する

みんなと語り合う中で、「こんなことを取り組みたい」「こんなまちになってほしい」と思うことをわかりやすく、イラスト等自由に書きながら、カードにまとめます。

## ⑥ワールド・カフェでの振り返り(ギャラリーウォーク)

書き込んだカードやシートをそれぞれの机に展示して、他のテーブルでどのような話し合いが行われたかをみんなで眺めます。

【移動の様子】



【第2ラウンドの様子】



【ギャラリーウォークの様子】



【まとめカード記入の様子】





---

## 3 ワークショップ結果の総括

---

## **(1) 市民ワークショップのまとめ**

### **「地域コミュニティや市民活動」に関する意見**

○「高齢者」について「地域コミュニティや市民活動」、「人材・資源」、「防災」など様々な話題の中で多くの意見がだされており、多くの方が高齢者の課題に携わり、考えていることをうかがわせます。「ひきこもりや交流が苦手な人」への対応に関する意見が多くあり、課題となっています。特に「定年退職後の高齢男性」をイメージさせる意見が多い一方で、経験豊富な高齢男性の地域での活躍に期待する声も多く、いかに男性の高齢者に地域にかかわってもらうかがポイントと言えます。また、「民生委員や区長などの負担が大きく、限界である」との意見が多くありました。対応策として、「福祉協力員などの制度化」「若い民生委員の登用」「高齢者の現状把握についても様々な方法を工夫するべき」などの意見がありました。

○地域交流に関する意見として、高齢者と子どもの交流についての意見やそのきっかけづくりとしての挨拶運動の提案が多くありました。また、「子どもを引き込むと、もれなくその親もついてくる！」との意見がありました。市民意識調査でも30～40歳代は、現在地域で何らかの活動を行っているとの回答が多く、子どもの関係での活動と推測できることから、地域交流の推進のためには有効な視点であると思われる。

### **「移動手段・交通」に関する意見**

○鉄道や高速道路など、「市外へのアクセスが良い」という意見と、普段の買物や駅までのアクセスなど「市内での移動が不便」という意見の両方が多数ありました。具体的な意見としては、「コミュニティバスの改善」に意見が集中しましたが、「デマンド型の買物支援」や「のぞみが丘小学校区と御原小学校区で運行されている自治会バスの普及」などの意見もありました。

### **「人材・資源」に関する意見**

○市民ワークショップには、聴覚に障害がある方も多く参加しましたが、「手話通訳が充実している」との意見が多数ありました。「更なる充実を進める必要があるが、手話に限らず、人権にかかわる問題として、みんなが互いに気かけ合い、みんな生きていくことが出来るまちづくりが大事」などの意見もありました。

○「若い人材の参画が少ない」「団体の紹介をする機会があれば」などの意見がありました。

### **「情報・PR」に関する意見**

○「PRが下手」「4コマ漫画や短い動画で」などの意見がありました。また、各種活動や連携を進めるに当たって、「個人情報保護の観点から情報共有が難しい」との意見もあり、研修のあり方などが課題であると考えられます。「外国人へゴミ出しや交通のルールを分かりやすく提供する必要がある」との意見もありました。

### 「施設・設備」に関する意見

○「病院や福祉施設が充実した生活しやすいまち」との意見が多くありました。また、「施設の場所が分からないため、案内板など情報提供の工夫が必要」などの意見や自分の高齢化を見据え、車の運転が出来なくなったら歩きが増えるだろうとの思いから「ベンチやバリアフリーなど高齢者が出かけやすい道路などの設備」を求める意見がありました。

### 「防災」に関する意見

○いいところとして「災害が少ない」との意見があるものの、「災害に対する意識が低い」「防災体制を整えても何をしてよいか分からない人が多い」や防災リーダーの活用を求める意見がありました。日常的な高齢者の見守りと同じく「民生委員や区長など一部に負担が偏っている」との意見もありました。昨年の豪雨災害の経験を受け、市民の防災に対する関心が高まっていると考えられます。

### その他

○いいところとして「自然が豊富」という意見が多くあり、特に「宝満川の活用」のアイデアが多く出されました。豊かな自然や歴史をPRすることで、活気のあるまちを目指す意見が多くありましたが、対外的なPRだけでなく、市内へのPRにより、まずは市民がふるさとに誇りを持つという意見も含まれています。

○このようなワークショップをもっと開催してほしいとの意見が多くありました。「話題を絞ってほしい」「区長を中心に」「地域ごとに開催してほしい」などの意見もありました。

○「剪定ゴミを出す時の手助け」を求める意見が複数ありました。戸建て住宅が多い小郡市の特長を考えると、剪定や剪定ゴミは高齢化に伴い問題になってくる可能性があります。

## (2) 市民団体ワークショップのまとめ

### 「地域コミュニティや市民活動」に関する意見

○高齢者に関して、「声を上げない方への支援が大事」「マンションの見守りは大変」「男性のひきこもり」など、市民ワークショップと同様、多くの意見が出されました。また、校区社協の設置や福祉委員制度について求める意見が多くありました。

○地域での交流に関して、「子どもと高齢者の交流」「空家を活用した地域での多世代交流」の意見が多くありました。

### 「人材・資源」に関する意見

○様々な団体から参加があり、活動の推進に関する多くの意見をいただきました。ボランティア活動や団体に関して、小郡市の強みとして「団体が多く充実している」「活動の種類が多い」「若い人の意識が高い」などの意見がありました。一方で「若い人の参加が少ない」との意見もあり、若い人の活動を促すため「PC やインターネットなどバーチャル的な感覚、ゲーム感覚が必要」などの意見がありました。

○弱みとしては、「ボランティアに参加したいがどこに行けばよいか分からないという声を聞く」という意見がある一方で活動者からは「知ってもらいたい！活用してもらいたい！団体の宣伝をしてほしい」などの意見がありました。また、「後継者がいなくなる」との意見やその対策となるような意見として「団塊の世代の活用」「市できっかけや連携の仕組みを作してほしい」「交通費や物品の支援を」などの意見がありました。

### 「情報・PR」に関する意見

○「リーフレットは簡単に！（いっぱい情報を入れたいけど）」や「家族と同居の高齢者は民生委員とのかかわりが薄いため情報や支援が届いていない」「良い施設やボランティア、相談するところがあるのに知らない人多すぎる」などの意見があり、情報提供について、拡充と工夫が求められています。また、市民ワークショップと同様「個人情報との兼ね合いで困りごとを表に出す機会が少なくなった」などの意見がありました。

### その他

○市や社協に対しては「同じようなことをしている人や活動の整理」や「分野を超えてつながる役割を担うところ」を求める意見や「各課や団体と連携した会議がないのでは？」「縦割りによる細分化を横のつながりで」などの意見がありました。

○移動手段に関して、市民ワークショップと同様、コミュニティバスに対する意見が多くありました。

### (3) 総括

○小郡市の大きな強みとして、ボランティアや福祉関係団体が多いことが挙げられています。この強みを活かし、継続していくために、活動を始めたい人と依頼や利用をしたい人へのPRや活動の紹介や団体間の連携の推進など活動しやすくするための支援が求められています。

○小郡市の弱みとして、市内での日常的な移動手段の不足が挙げられています。交通支援と買物支援は高齢化の進行に伴い、さらに必要性が高くなると考えられます。コミュニティバスへの意見は多く、市内での交通手段として定着していると言えそうですが、全ての意見をコミュニティバスだけで解決することは、現実的には困難です。この弱みを改善していくためには、意見にも挙げられていたデマンド型交通(※)による移動手段や移動支援ボランティアなど、地域に適した移動手段について検討が必要と考えられます。

#### ※デマンド型交通

予約など利用者のニーズに応じて柔軟な運行を行う公共交通の一形態。路線バスに近い形からタクシーに近い形まで、運行ダイヤや発着地などの自由度の組み合わせで多様な運行形態が存在する。

○交流が苦手、または引きこもりがちな高齢者が課題となっています。見守り訪問の拒否など、活動者が困惑している様子もうかがえます。日中独居の高齢者などと合わせて、まずはそのような高齢者の把握と情報の共有が重要と考えられます。定年退職を迎えた高齢男性については、地域の中で趣味や経験を活かした活動に繋げる支援が出来れば、引きこもり防止だけではなく、地域での活躍を期待することができます。

○日常的な高齢者の見守りや自主防災組織の活動にあたって、民生委員や区長などへの負担の集中が課題となっています。引き続きの課題として、地域での福祉活動の担い手育成が求められています。改善していくための取組として、福祉協力員などの制度化について意見が挙げられています。また、ボランティアなどの地域活動についても、後継者や担い手確保が課題であるという意見が挙げられています。

○個人情報保護の観点から情報共有が困難であることが挙げており、引き続き課題となっています。活動を担う方の拡大や団体間の連携に支障となっており、個人情報の取扱いに関する学習支援やルールの周知が必要とされています。

## 4 ワークショップ内容のまとめ（第1回・第2回市民ワークショップ）

※基本的に原文のまま掲載しています。

## ■おごおりの「いい」ところと「いい」ところを活かす取り組み

### <地域コミュニティや市民活動>-----

#### ◆いいところ

おごおりの（福祉で）いいところは・・・	説明
・認知症防止のためのカフェ	—
・子どものみまもり	・登下校時に地域の方が通学路に立ち、あいさつや声かけを行っている
・子どものみまもりなど住民が積極的に行っている	—
・子どもたちのあいさつ	・ひとり暮らしの者にとって小学生のあいさつはうれしく思う ・子どもの通学、校門のみまもり、あいさつが行き届いていること
・障がい者に対する偏見が少なくなった	・自治会の活動とかに誘われるようになった。気軽にあいさつされるようになったのでうれしい
・障がいのある方への理解が良い（良くなってきている）	・まだまだ途中ではあるが、障がいのある方への心配りが良くなってきているように思える。市内のいろいろな所で車イスの利用者への設備、体の不自由な方や高齢者向けの設備が目にとまる
・民生委員等の活動が活発	・民生委員のほか、福祉委員として活動しているから老人世帯などへの手助けの幅が広がっている

## ◆いいところを活かす取り組み

### ○高齢者

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
高齢者福祉の充実	—	高齢者等の見守りについては、区の役員や民生委員を中心に組織的に行われているか？民生委員は限界を感じている（高齢者の増加）。各区に福祉協力員等の設置を進め、組織的な制度を作り、統一した研修を実施し、地域福祉の向上を図る。	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで行くこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで行くこと(共助)	市が行くこと(公助)
—	—	—	—

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
1人暮らしの高齢者	歩こう会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大坂井2区の歩こう会・活動</li> <li>健康な暮らしをする為・隣近所と親しく生活するため“歩こう会”を10年以上実施してます。</li> <li>・毎月1回早朝散歩（約1時間）</li> <li>・年間7～8回・バス・JR・西鉄・車の相乗りで出かけ、散策する。</li> <li>・新年会、忘年会を実施・おしゃべり会。</li> </ul>	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで行くこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで行くこと(共助)	市が行くこと(公助)
—	みんな、おしゃべりすることで元気になり、遠い親戚より”親しい隣近所”。	社協バスを利用させて欲しい！健康な老人を維持できるように。	—

## ○地域交流（１）あいさつ・声かけ

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
校区で挨拶運動を	全世代型	中学校、小学生の皆さんは挨拶運動については、積極的に取り組まれています。一方大人の皆さん（ウォーキングの方を含めて）視界に入っていないように感じています。大人世代が先手で挨拶をする風潮づくりの“キッカケ”づくりが出来ればと思います。	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで行くこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで行くこと(共助)	市が行くこと(公助)
中学生、小学生にやさしい雰囲気。	声掛け運動。	まち協が中心になって取り組んでほしい。	のぼりの作成。

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
“こっそり見守り” あいさつ運動	さりげなく、無理なく。	<ul style="list-style-type: none"> <li>子ども達（小・中学生）⇔地域・近所の高齢者。</li> <li>子ども達に担当のおじいちゃん、おばあちゃんを決めてもらう。</li> <li>学校の行き帰りに「おはよう」「ただいま」を言うだけ！</li> <li>高齢者はさりげなく、子どもの様子をみて声をかけるだけ！</li> <li>高齢者には、「子どもを見守る」という役目を与える。子どもにとっては、「見守っている」という意識も「見守られている」という意識もないが、実は互いが見守りあっているという構図。</li> </ul>	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで行くこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで行くこと(共助)	市が行くこと(公助)
担当の高齢者（子ども）について知る。（詳しくなくてもいい）	高齢者と子どもの担当決め。（マッチング）	<ul style="list-style-type: none"> <li>PTAや子ども会を巻き込んでいく。</li> <li>子どもを引きこむと、もれなく親もついてくる！高齢者と子どもだけの取り組みじゃなくなる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>アイディアの提供。</li> <li>広報等（取り組みの紹介）。</li> </ul>

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
みんなで協力を！	—	一人暮らし、高齢者、障がいのある方等へのサポート。	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで取り組むこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで取り組むこと(共助)	市が取り組むこと(公助)
自分や家族でできることは積極的に取り組む。	身近にサポートを必要とされる方がおられれば、積極的に声かけし、できることとサポートをする。	個人でできないこと等は…みんなで協力することが大事。連携が必要。	どのような取り組みがされているかをしっかり知らせる！（誰でもわかりやすい方法で！！）

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
—	—	中学生の方から挨拶してくれる。	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで取り組むこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで取り組むこと(共助)	市が取り組むこと(公助)
両親が子どもに教える。	挨拶を返す。	—	—

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
コミュニティ活動	ふれあい	子どもと高齢者のふれあいで元気が出る町づくり（あいさつ、交流）。	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで取り組むこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで取り組むこと(共助)	市が取り組むこと(公助)
あいさつ。	近所の人を知る。	交流の場を設ける。	活動の内容等の提案。

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
小郡皆でつながろう	—	挨拶からの人との繋がりを作る。（挨拶はコミュニケーション）	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで取り組むこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで取り組むこと(共助)	市が取り組むこと(公助)
—	—	—	—

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
地域コミュニティや市民活動	あいさつ	あいさつ運動の継続。挨拶できる関係づくり。顔なじみの関係、繋がり。	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで行うこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで行うこと(共助)	市が行うこと(公助)
あいさつの励行。家庭教育が重要。	自分からの挨拶。	—	—

## ○地域交流（２）交流の場

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
孤立防止	地域コミュニティ	各行政区で行っているふれあいネットワークを主体とした、カフェ等の地域住民が気軽に集まって語り合える場所を設ける。	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで行うこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで行うこと(共助)	市が行うこと(公助)
—	住民同士、声かけを行って孤立化を防ぐ。	自治会の班単位程度の地域で話し合える場所で住民が楽しく過ごせるようにする。	住民が集まれる場を提供する。

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
—	—	市内の若い方々が集えるような場の提供がほしい。いろんな特技を持った人々が、公共でその特技を発揮できるようなサポートをする組織の立ち上げが大切と考えられる。	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで行うこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで行うこと(共助)	市が行うこと(公助)
—	—	—	人材の確保、隠れた人材を発掘し、それを支援に結び付けるような組織の立ち上げ。

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
コミュニティセンターでの協同サークル（コラボ）	—	認知症カフェをコミセンで実施するときに、同じコミセンを使っているサークルや、教室の方々をお招きして一緒にやることで、いつもとは違った雰囲気での取り組みができる。 発表の場、交流の場にもなり、地域の活性化にもつながる。	
家族や自分で取り組むこと（自助）	隣近所など身近なみんなで行きあうこと（互助）	社協や団体など、地域ぐるみで行きあうこと（共助）	市が行きあうこと（公助）
サークル、教室に参加する。	未参加の人を誘う。	団体の長が協力できるよう、話し合いをする。場をもつ。	各コミセンのサークル、教室を広報していく。

## ○その他

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
—	フェ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フェを持とう（防犯）。</li> <li>・一人暮らし…女性・いざという時に吹く。</li> </ul>	
家族や自分で取り組むこと（自助）	隣近所など身近なみんなで行きあうこと（互助）	社協や団体など、地域ぐるみで行きあうこと（共助）	市が行きあうこと（公助）
首にかける。	—	—	—

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
もっと“おごおり”の事を知ろう！	地域	小郡市内で北部と南部では温度差があるが、それを強みとして生かしていこう。 （北部…新興住宅が多く若い人が多い。 南部…昔からの伝統を大切に作る。）	
家族や自分で取り組むこと（自助）	隣近所など身近なみんなで行きあうこと（互助）	社協や団体など、地域ぐるみで行きあうこと（共助）	市が行きあうこと（公助）
自分の住んでいる地域に愛着を持つ。	地域での行事に参加する。	行事に参加してもらえるように周知する。	地域でのイベントや行事などを広報にあげ知ってもらう。

## <移動手段・交通>-----

### ◆いいところ

おごおりの（福祉で）いいところは・・・	説明
・交通の便が良い	・西鉄、鳥栖ジャンクションがあり、どこへでも行きやすい
	・小郡の良いところといえば、多くの方がこれをあげると思います。
	・福岡市、久留米市にも気軽に行けるし、高速道路で大分方面にも行ける
・交通の便利が良い（アクセス）	・高速道路、電車、JR
・交通の便がいい田園都市。災害が少ない	—
・福岡、久留米に近く交通の便利が良い。	—
・高速が近い	・都心までの交通アクセスがいい
・車の運転がしやすい（運転できる者にとっては）	・交通量もさほど多くないし道路もまあまあ。混み合っているところは他の道が利用しやすい⇔運転できなくなったら不便
・福祉協議会のバスが無料で利用できる （ふれあいネットワークで）	—
・西鉄と甘鉄があるところが良い	・交通アクセスが良い
・電車での移動がしやすい！！	—

### ◆いいところを活かす取り組み

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
移動手段	自治会バス	のぞみが丘区、御原校区で行われている自治会バスの取り組みを、他の地域でも！！	
家族や自分で取り組むこと（自助）	隣近所など身近なみんなで取り組むこと（互助）	社協や団体など、地域ぐるみで取り組むこと（共助）	市が取り組むこと（公助）
—	—	・協力者の発掘。 ・仕組みづくり（ルート、運行スケジュールなど）	保険、安全性の確保。

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
自転車ゾーンの新設	安全安心まちづくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小郡市は平地→その強みを生かしたい。</li> <li>・高齢者で自転車を移動手段にしている方からの要望。</li> <li>・小郡市の特性の駅から各地域への自転車ゾーンの新設はまず出来る所からスタート。</li> <li>・小郡市のビジョンの中に入れてください。</li> </ul>	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで行くこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで行くこと(共助)	市が行くこと(公助)
—	—	—	自転車ゾーンの整備に対するビジョンの提案。

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
観光アクセス	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・如意輪寺は、小郡の観光地として、外国からもたくさんの方がみえています。</li> <li>・道路、アクセスの改善。</li> <li>・トイレ、環境の整備。</li> </ul>	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで行くこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで行くこと(共助)	市が行くこと(公助)
—	—	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車場・トイレ</li> <li>・道路は広く。</li> </ul>

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
インターチェンジと観光	—	高速のICを新設するなら、その付近に立ち寄ってもらえるような道の駅などを整備してほしい。	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで行くこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで行くこと(共助)	市が行くこと(公助)
—	—	—	早期着工を。

## <人材・資源>-----

### ◆いいところ

おごおりの（福祉で）いいところは・・・	説明
・手話通訳がいいところ	・自分が必要なときに通訳を申し込める
・手話通訳が多い	・手話、通訳の数が多いところはよしとする
・通訳がいる	—
・障がい者への対応	・市役所内に手話通訳の方が配置されている（2人） ・サポネットおごおり
・人材が豊富	・話してみると、熱い思いを持った、アイデアを持った人が多い
・一生の先輩を大切に！！	・この世の中を守って来られた方を大切にまだまだ色々と表舞台に出ていただきたい！
・高校生がボランティア参加している	・三井高校などの生徒が発達障がい児のケアプログラムに参加している 例:サマースクール、ウィンタースクール、スプリングスクール
・人間性が温かい	・色んな催し物があり、そこに参加された方々が笑顔になったり知り合えることで、「人とのつながり」が広がるから
・人がやさしい	・他のテーブルの方と話していても多くのところで「そうだよね～」という声が出ていました
	・お互いさまの気持ちが残っている
・考える力行動されてる力	・こういう会がよくあっている。考えている人が多い。 実際に手話が多かったり、いろいろ福祉に関する行事がある（小さいが）。 もっと大々的なイベントなどやってもいいだろうけど
・小郡の福祉をもっとよく知りたい、良くしていきたい、と前向きである	—
・認知症に対する知識を持つ人が多い	・認知症への恐怖が強いので、知識、心構えをする人が多い

## ◆いいところを活かす取り組み

### ○高齢者

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
高齢者を活用する	人材	高齢者（特に男性）の力を活かすために、集える場所、講座を増やす。男性ボランティアが少ない。三国カフェと同様な集える場所の増加。	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで行くこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで行くこと(共助)	市が行くこと(公助)
外に出るきっかけを逃さないようにする。	声かけし、引きこもりを防ぐ。	声かけ、興味を引く研修を考案する。	講座、研修の機会、広報。

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
特技をつなぐ⇒地域課題解消へ	人材（高齢者）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域には多くの優秀な人材がいる。→人々を繋ぐ！！</li> <li>・顔見知りになることで、解決に向かうことがある？！</li> <li>・出来る事や必要とする事など、マネジメントするのは？！</li> </ul>	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで行くこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで行くこと(共助)	市が行くこと(公助)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間をつくること。</li> <li>・地域活動に参加すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期的に集まり、語り合うこと。</li> <li>・取り組める内容を整理すること。</li> </ul>	サークル活動の活躍の場を広げる。	様々な場の情報提供。

### ○障がい者

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
手話をもっと身近に	手話	手話を使える人が増えるように、市が出している印刷物に手話イラストを入れる。講演会チラシとか。	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで行くこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで行くこと(共助)	市が行くこと(公助)
手話に関心を持つ。	—	—	印刷物の中に手話イラストをデザインする。

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
手話通訳	—	手話通訳の派遣がほかの市町村より充実している。	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで行き届くこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで行き届くこと(共助)	市が行き届くこと(公助)
—	—	—	他の市町は通訳が付かない所を小郡市はつけてくれることはありがたい。

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
手話通訳	人にやさしい町	どこに行っても手話通訳がいる。	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで行き届くこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで行き届くこと(共助)	市が行き届くこと(公助)
声かけをして気に留めておくこと。	やさしい見守り	みんなで作る町作り 人権問題をもっと強化。	人権問題をもっと身近な問題として楽しく、明るく生きていける町作りを！！

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
手話通訳をもっと充実	人材	近隣自治体と比べて、小郡市は手話通訳が充実している。維持、改善を行っていく。	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで行き届くこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで行き届くこと(共助)	市が行き届くこと(公助)
—	—	手話通訳者の養成、手話通訳者の普及・啓発。	手話通訳者の処遇改善。(なり手を増やす)

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
障がい者の会を活かす	—	小郡にある障がい者の会を活かすため、横の連絡をネットワークして、社協、福祉課との連携を深める取り組みが必要。 NPO “みんなのカエルランド” NPO サポネットおごおり	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで行うこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで行うこと(共助)	市が行うこと(公助)
—	障がい者の交流で、地域の人に、親しみと理解を深める。	—	—

## ○ボランティア

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
市の研修のあり方	ボランティアのすすめ	市は研修等をよくしているが、後に役立つように、ボランティアのすすめ。	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで行うこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで行うこと(共助)	市が行うこと(公助)
—	—	多くの人に声掛け。	より多くの人にボランティアを進める。特に高齢者の男性に。

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
ボランティア活発	ボランティア	<p>&lt;ボランティアに参加する人&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人と人のつながりがある。</li> <li>・コミュニケーションがとれる。</li> </ul> <p>&lt;ボランティアに参加しない人&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本当は何かをしたい。しかし継続できるかの心配。また、何かからしたらいいか分からない不安。</li> <li>・ボランティアをする人は複数することが多い。しない人は本当にしない。やっていることがわからない。</li> <li>・小郡市の強み→ボランティア団体が多い！</li> </ul>	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで行うこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで行うこと(共助)	市が行うこと(公助)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・何が あるのかを知る。</li> <li>・ボランティアセンター</li> <li>・広報誌</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・知っている人がいたら、ボランティアに巻き込む。</li> <li>・高齢者への呼びかけ。</li> </ul>	社協だよりでの呼びかけ強化。ボランティア団体についての紹介や、やってみませんか？という言葉かけ。	広報に記載。

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
ボランティア活動	福祉	<p>高校生がボランティア活動をしているので、これをもっと広めていく。(若い世代～お年寄りまで)</p> <p>研修会など手話通訳や要約筆記がなされている。しかし、人が足りない。人材育成。</p>	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで行うこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで行うこと(共助)	市が行うこと(公助)
自分が出来そうな活動は積極的に参加する。	声をかけあい、ちょこっとボランティアを計画するなどし、隣近所がつながっていったらいいと思う。	研修会を計画するなどボランティア活動への意欲を育てる。	手話通訳ができるまでとは言わないが、学校で手話の勉強があったらいいと思う。

## ○市民参画

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
—	—	若い人材の参加が少ない、もっと気軽に参加できるように（市）の取り組みの人材を多くしてほしい！一部分だけでは、小郡市を良くするのはとても無謀かと思います。今自分自身いろいろな取り組みに顔を出していますし、またこれから参加したいけどちょっと今の所考え中です。	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで行くこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで行くこと(共助)	市が行くこと(公助)
息子、妻等、相談中です。たった一人の孫のことで迷っています(4歳の孫です)。	みんな老人になっていきます。自分もそうですが前に出てなるべく話をしています。声掛けを行っています。	—	—

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
一緒にやろうよ	人材	市民活動に参加したいと思っても、どんな団体があって、どんな活動をしているか分からないので、団体の紹介をする機会を作る。	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで行くこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで行くこと(共助)	市が行くこと(公助)
—	子どもころから自治会活動に参加する意識を作る。	各種イベントに参加して団体紹介を行う。	毎月広報で紹介する。イベントの時には必ず団体紹介を行う。

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
—	—	基本：人的資源 どのような仕掛けで確保するか。 人と人の関係の構築。	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで行くこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで行くこと(共助)	市が行くこと(公助)
初歩一声掛け。	地域の問題の共通認識。	—	特定活動（例、カフェ）への支援。



トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
七夕大豆の活用	特産品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大豆を使った家庭料理の「コンテスト」実施。</li> <li>・大豆を使ったお菓子の開発。※道の駅などとも関連。</li> <li>・大豆の効用などを広報。</li> </ul>	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみなで取り組むこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで取り組むこと(共助)	市が取り組むこと(公助)
—	行政区で料理教室など開催し、レシピの周知を図る。	商工会、JA、菓子、組合、行政などで協議会等を組織する。	広報や調査、イベント会場の提供。

## <情報・PR>

### ◆いいところを活かす取り組み

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
小郡市の人口増加施策	個人のスキルの共有	子育て世代の支援に力点を置いた取り組みを具体化するツールとして集団のスキルの共有、他地域への周知等。	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみなで取り組むこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで取り組むこと(共助)	市が取り組むこと(公助)
—	—	—	モデルとなる施策を実施している団体などを他の地域に紹介する。

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
わかりやすく	情報をわかりやすく	市で行われている授業やカルチャー等、情報を整理して(まとめ、ジャンルごとに一覧とするなど)分かりやすくしてほしい。他、手続きというものも特にお年寄りには分かりづらい方が多いので、分かりやすい表現の工夫を!	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみなで取り組むこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで取り組むこと(共助)	市が取り組むこと(公助)
—	—	—	—

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
七夕の町 OGO-R I	町の活性！	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イルミネーションがあるので、イベント等をしたらいいのでは。</li> <li>・宝満川と土手を使って、夏にトライアスロン。</li> </ul>	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで行くこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで行くこと(共助)	市が行くこと(公助)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ SNS でお知らせ。</li> <li>・ 口コミ。</li> </ul>	回覧板でまわす！	—	行政の方々との連携。

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
ビジター増加	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小郡には、おいしい物（ラーメン、洋和菓子）が多いので、PRして観光客を増やしたい。</li> <li>・手話通訳の方を市等のイベントに増やしていきたい。←障害のある人も参加しやすくなる（観光客も）。</li> <li>・ペットの飼い主の教育を行いきれいな街並みを。</li> </ul>	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで行くこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで行くこと(共助)	市が行くこと(公助)
SNS での情報発信。	ゴミやペットの糞の収集の徹底。	—	—

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
自然環境	特産品	小郡は、農業の町なのでもっと、特産物になるものを PR していきたい。	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで行くこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで行くこと(共助)	市が行くこと(公助)
休みの日に小郡の散策。	—	特産物も PR。	特産品の PR。

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
小郡市をアピールしよう！	交通・市民活動	小郡の自然、産物、交通の便を生かして、イベントや特産物を開拓していく。 (散歩コース、マラソンコース、レンタサイクル、寺・神社めぐり、新イベント) →市外の人を呼びこみ活性化、市内の買い物難民を減らす。	
<b>家族や自分で取り組むこと(自助)</b>	<b>隣近所など身近なみんなで取り組むこと(互助)</b>	<b>社協や団体など、地域ぐるみで取り組むこと(共助)</b>	<b>市が取り組むこと(公助)</b>
・小郡市のいい所共有。 ・小郡市の産物について知る。	イベント企画について話し合い、何が持ちよれるか考える。	イベント企画。	イベント企画。市民がやりたいことの把握。

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
花まつりなどの PR	—	季節ごとにいろいろな花まつりがあるが、小郡市のは駐車場もあまりなく内輪だけになっている。久留米市などを参考にもっと PR してみてもどうか。	
<b>家族や自分で取り組むこと(自助)</b>	<b>隣近所など身近なみんなで取り組むこと(互助)</b>	<b>社協や団体など、地域ぐるみで取り組むこと(共助)</b>	<b>市が取り組むこと(公助)</b>
—	—	—	—

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
小郡拡大運動	沈滞	小郡は他都市（久留米・鳥栖）と比べて素質はいいものを持っている。しかし、なぜ沈滞しているのか。それは、自分達の住んでいる所を、小さい、と感じているのでは。小さい→大きいと意識の変換をしていこう。	
<b>家族や自分で取り組むこと(自助)</b>	<b>隣近所など身近なみんなで取り組むこと(互助)</b>	<b>社協や団体など、地域ぐるみで取り組むこと(共助)</b>	<b>市が取り組むこと(公助)</b>
若い世代、子ども達にもっと自信を持って、小郡を語ろう。	小郡のこれからをもっと話し合おう。黙っていないで。	小郡の3偉人をアピールしよう。(野田宇太郎・高松凌雲・帯木蓬生)	小郡の地勢・歴史をもっと市民にアピールしよう。市全体の行事を考え出そう。

## <施設・設備>-----

### ◆いいところ

おごおりの（福祉で）いいところは・・・	説明
・病院、福祉施設が比較的多い	・病院（収容できる）老人介護のための施設が小郡市は比較的多いのでは
・福岡、久留米に近く交通の便利が良い。 住むに優しく、病院、福祉施設が多い。	—
・障がい児の長期の休みのスクールがある	・子どもたちの休み時の行き場があり、色々と経験させてくれているところ
—	・“サポネットおごおり”があること
・楽しい公園がほしい。子どもたちの園も兼ねた園	・近くに花園があるとひとり者にはいこいになる。天気の良いときにはお弁当を持って年寄り同士が友達になれるかも。子どもたちの元気な声が聞けると思う
・福祉に関する行政の窓口や福祉法人が多くある	・福祉に関する相談の窓口が多くあり、相談先を知っていれば、遠くまで行かなくても、小郡市内で相談することができる

### ◆いいところを活かす取り組み

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
—	—	小郡は七夕神社カエル寺等の多く見る所はありますが、宿泊する所がない。	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで取り組むこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで取り組むこと(共助)	市が取り組むこと(公助)
—	—	—	宿泊施設を作る。

## <防災>

### ◆いいところ

おごおりの（福祉で）いいところは・・・	説明
・災害が少ない	・平地が多く、水害や地震にも強い。安心して住める！

### ◆いいところを活かす取り組み

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
高齢者対応をさらに充実する	高齢者対策	民生委員、区のふれあいネット活動、市の体制（社協体制）は充実しているが、災害対策を充実させるためには（引きこもりの）一人暮らしの人をいかに外に引き出すかが重要である。（情報管理との兼ね合いが難しい問題ではあるが）	
家族や自分で取り組むこと（自助）	隣近所など身近なみんなで取り組むこと（互助）	社協や団体など、地域ぐるみで取り組むこと（共助）	市が取り組むこと（公助）
—	いきいきサロン活動の充実をはかり、気楽に高齢者が参加できるような雰囲気づくりをさらに模索していく。	見守り支援台帳の有効活用。	同左

## <自然・環境>

### ◆いいところ

おごおりの（福祉で）いいところは・・・	説明
・新鮮な野菜が豊富	・自分たちで作ることができる。足りないものはつくればい
・自然が豊か	・田畑に囲まれて体調も良くなった
・空気がきれい	・ぜんそくが治った！！
・自然が残っていて、観察会が続けられている！！	・渡り鳥が来る季節になりました。今年もカモ、オシドリが来ています
・宝満川の活用①自然と共生	・自然に恵まれている。もう少し宝満川との共生ゾーンを流域に広げてほしい
—	・宝満川が小郡の宝であり、運動公園を中心に活用できる場所を広げてほしい

## ◆いいところを活かす取り組み

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
宝満川の活用	—	1.観光資源として活用。 2.高齢者の癒しの場として。 3.食材の地産・地消。 ・キャンプ場を整備して、地産地消にもつなげていく。	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで行くこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで行くこと(共助)	市が行くこと(公助)
—	—	市、観光協会、JA 関係、区長会 …合同で まず説明会提案理由を 説明し可・否を検討する。	同左

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
宝満川を市のPRに生かす	川と市民の共存	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宝満川を生かした取り組み。</li> <li>・川の周辺（左岸）を生かした、憩いの場を設置。</li> <li>・川と共存した場を設置。</li> <li>・しじみがとれる、魚釣りができる、等。</li> </ul>	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで行くこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで行くこと(共助)	市が行くこと(公助)
つくしやしじみなど、四季を通じての宝満川の良さを発見し、周りに伝えていく。	川の周辺の方々（校区で）に、宝満川の良さを発見。	ボランティアによる、川と周辺の清掃活動。	宝満川の整備。

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
宝満川～川の活用	宝満川は“小郡の宝”	高齢者が元気で楽しく過ごすには、健康が必要！そのためには“散歩”が必要で最適。宝満川の岸边へ“憩いの場所”を設けて、鳥、虫、緑の木など楽しく、親しめる場所にする。	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで行うこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで行うこと(共助)	市が行うこと(公助)
—	—	—	—

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
宝満川の活用	自然、環境	宝満川がきれいになったので、川辺の整備を歩道、ランニングコース等に活用しては。	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで行うこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで行うこと(共助)	市が行うこと(公助)
ゴミを捨てない、もし見たら注意する。	—	清掃、年に1回でなく増やす。	—

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
自然環境	豊かな自然	市内に残る畑、森には絶滅危惧種を含めた動植物が多く存する、むやみな開発を進める前にその実態を調査することが大切である。歴史資料館の人とも協力してやっていくこと。	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで行うこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで行うこと(共助)	市が行うこと(公助)
自然とは何か勉強しよう。	—	—	計画段階で自然保護を優先の事。

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
—	—	小郡には市外に誇れる遺跡が多くある。春と秋のウォーキング（歴史散歩）に参加しているが、もっと活用できるような気がする。	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで行きあうこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで行きあうこと(共助)	市が行きあうこと(公助)
積極的に参加。	地域の人に参加の声を掛ける。	—	広報（分かりやすい）。

## <市役所・社会福祉協議会>-----

### ◆いいところ

おごおりの（福祉で）いいところは・・・	説明
・高齢者福祉に積極的	・積極的に取り組む姿勢は良いが、担い手の育成がうまくいっていない。担い手育成をもっと積極的に行い、誰もが安心して暮らせる地域になってほしい
・高齢者に対する福祉体制は非常に進んでいる	・敬老会支援、まちづくりの中での支援、市の体制は充実している
・コミュニケーション保障に力を入れている	・あらゆる講演会に手話通訳や要約筆記がついている。ろう者や老人性難聴の方も参加しやすい
・昔に比べ、市のスタッフ様が、対応が良くなったと思います	・以前は尋ねてもあまり詳しく教えていただけなくて少々気分悪くしたことがありました
・職員さんの対応が早くて良い	・相談に行っても、横の連絡をすぐつけて安心です。これからもよろしくおねがいします。民生委員
・市に相談すると、詳しく説明してくれる	・民生委員さんがわからないことを市役所に相談したらわかりやすく説明してもらえたと言った
・市へ相談すると親切に説明してくれる	—
・社協職員の対応が素晴らしい	・40代ひとり暮らし。酒におぼれ家の中はめちゃくちゃだった。職員は病院の手配等々に手をつくし、現在は立て直し、人並みの生活をしている
・社協	・困っている人への対応が良かった
・この話し合い、good!!	・小郡でこのような話し合いがあるとは思わなかった。参加して良かった!!

<ul style="list-style-type: none"> <li>・いま一生懸命小郡の人々と話し合いの場を持たれているところに心を打たれています</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分自身も勉強不足と思い、色々なところへ顔を出して行きたいと思います</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・今回のような気軽に市民参加できるプログラムが組まれているところ</li> </ul>	—
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「おごおり福祉トーク！」このような取り組みを計画して、実施したこと</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・少人数のテーブルでの話は話題が拡散することはともかくとして、自分が知らないことも出てきて、地域性も出てきておもしろい。まとめ方をよく考えていきたい</li> </ul>

### ◆いいところを活かす取り組み

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
—	—	年若い人も、年若い人も、各それぞれの不便さを解決してくださる小郡市が…と思います。	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで取り組むこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで取り組むこと(共助)	市が取り組むこと(公助)
いろいろな集會に参加したいと思います。	—	特産物もPR。団体(関係)に参加して自分の気持ちを言った方がよいと、今日の福祉トークで学びました。	その1つ1つのことに関して、相談できる場所を置いてほしいです。

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
—	—	市のスタッフ(市長さんを助けて全員の職員が協力してこそ本当に市民全員参加にて小郡市をよくしていく、また住みたい市にすることができるのではないですか?!?!私は小郡市に住んで69年、そう思います!	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで取り組むこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで取り組むこと(共助)	市が取り組むこと(公助)
—	—	—	—

## ■おごおりの「よくしたい」ところと「よくしたい」ところを改善する取り組み

### <地域コミュニティや市民活動>-----

#### ◆よくしたいところ

おごおりの（福祉で）もっとよくしたいところは・・・	説明
・ひとり暮らしになった時の近所付き合い	・高齢になり、耳が聞こえにくくなると、外に出たり会話したいと思わなくなるかもしれない
・高齢者、特にひとり暮らしで他者との交流が苦手な人の交流	・なかなか手がまわらない部分ではあるが、きっと地域の力でその方々に合った方法があるはず。
・高齢者のみまもり	・高齢者や弱者への声かけの仕組みづくりをする
・お互いを知る、認識を変える	・見守りが必要な場合であっても、個人情報ということで、なかなか相手のことがわからない。家族も教えてくれないことがある
・認知症への取り組みが弱い。高齢者等のみまもりが民生委員にかたよっているので、地域でのみまもり体制の整備を	—
・人と人との交流、学ぶ場	・障がいのある人同士で集まってしまう。コミュニケーションの方法がわからない
・子どもたちに元気がない？	・もっと外で遊んでほしいがそういう姿をあまり見かけなくなったように思います
・福祉関連組織の連携を強めることと、積極的に困っている人々に救いの手（サービス）を提供できる仕組みを作ってほしい	・個人情報を守秘するために各福祉組織間での情報共有や連携が弱いので、もっと連携を強めて受け身ではなく、積極的な支援を行えるような福祉活動の地域社会になってほしい
・つながり	・地域ではなかなか世代間の交流ができていないように思う。組織においてはいろんな世代で取り組む形が必要。充実の機会を増やすことが大事！
・まちづくり協議会はなじまない（不要な）行政区があると思う	・のぞみが丘、美鈴が丘区は不必要。両区の「共同事業」としてプログラム企画を実施すれば良い
・市民の要望が多い	・区長への要望が多い

## ◆よくしたいところを改善する取り組み

### ○高齢者

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
一人暮らし高齢者が家から出るための取り組み	民生委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員が声かけをしても、高齢者はなかなか家から出ない。</li> <li>・一人暮らし高齢者は増していく。</li> <li>・民生委員の仕事は多く、とても大変。</li> <li>・ふれあいネットワークへ入ってくれない…。</li> <li>・引きこもり脱却させるため。</li> </ul>	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで行くこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで行くこと(共助)	市が行くこと(公助)
近くに高齢者がいたら、その方に積極的に声かけをする。 「おはようございます」	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達になる。(難しいかもしれないが)</li> <li>・声かけはずっとする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・サロンやボランティア等の魅力紹介。</li> <li>・市民みんなへの声かけ参加呼びかけ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民生委員へ報酬。</li> <li>・市民みんなへの声かけ参加呼びかけ。</li> </ul>

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
老人会活動の活発化	福祉	現状老人会活動は低迷しています。	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで行くこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで行くこと(共助)	市が行くこと(公助)
—	—	—	—

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
きょういく きょうようをもつ	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者（男性）をもっと外へ！</li> <li>行く所がない。時間と元気はある。</li> <li>↓</li> <li>とりあえず今日も図書館でうたたね…。</li> <li>↓</li> <li>どこか気軽に出かけられる場所、話ができないかな？</li> <li>その力、眠らせていませんか？+そのままだと介護へまっしぐらですよ？</li> <li>近くで出かける場所、自分の出番を作る！</li> </ul>	
<b>家族や自分で取り組むこと(自助)</b>	<b>隣近所など身近なみんなで行きあうこと(互助)</b>	<b>社協や団体など、地域ぐるみで行きあうこと(共助)</b>	<b>市が行きあうこと(公助)</b>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・最初の一步（出かけてみよう！という勇気）を踏み出してみる。</li> <li>・今日の用事、今日の行く所 きょうようときょういくを持つ。</li> </ul>	場所、機会の創出。	場所、機会の創出。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・場所、人、資源のマッチング。（コーディネート）</li> <li>・広報。（取り組みの紹介）</li> </ul>

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
一人暮らし応援隊～遠くの家族より近くの他人	地域コミュニティ	孤立しがち、もしくは孤立してなくても、寂しさや、不安感等大なり小なりあるもの。緊急時の SOS 発信を受ける近くの他人、普段からの付き合い等、助け合える関係づくり。	
<b>家族や自分で取り組むこと(自助)</b>	<b>隣近所など身近なみんなで行きあうこと(互助)</b>	<b>社協や団体など、地域ぐるみで行きあうこと(共助)</b>	<b>市が行きあうこと(公助)</b>
遠くの家族は近所に現状を打ち明け、本人も遠慮せず近所との関係を築く。	近所はちょっとした心配り、御裾分け。	社協はできる限り地域を把握する。団体は資源として役割を果たす。もしくは何かできることを考える。	団体間のネットワークづくり。

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
福祉について	—	高齢者が増える折、民生委員がいない地域があると聞き、衛生面で（排泄等）困っている人がいると聞いています。市の方で民間に民生委員の徹底をお願いしたいと思います。	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで取り組むこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで取り組むこと(共助)	市が取り組むこと(公助)
なるべく家にこもらず外に出て体を動かすことが大切だと思います。	なるべく隣近所で朝夕は声をかけあうように心がける。	子どもの見守り、学童には大人が率先して挨拶をするよう心掛ける。	—

## ○子ども

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
子育て世代の支援	老人の活用	若い人を増やすために。小郡市は、子育てがやりやすい、何かにつけて隣近所の人が見守りがよい。住むのに一番と感ぜてもらえる町作りをする。	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで取り組むこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで取り組むこと(共助)	市が取り組むこと(公助)
学童の見守り、防犯パトロール、門灯点灯運動	学童の見守り、防犯パトロール、門灯点灯運動	老人のスキルが公開等によりニーズ、シーズの共有化。	高齢者に対する啓蒙等の活動。

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
子どもへの福祉教育	—	小中学生への福祉教育の推進。認知症など子どもの時から知識を与え家族や地域での見守りの応援団として活用する仕組みを考えたらどうか！	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで取り組むこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで取り組むこと(共助)	市が取り組むこと(公助)
—	—	—	—

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
子ども 110 番のステッカー	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども 110 番の活性化。市民に毎年募集する。</li> <li>・玄関や見える所に貼る。</li> </ul>	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで行きあうこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで行きあうこと(共助)	市が行きあうこと(公助)
—	家にいる時は、玄関に鍵をかけない。	家々の声掛け、地域の見守りを強化する。	市民に 1 1 0 番の意味を知らせる。

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
—	—	子育て世代の保護者が集える（活動できる）場所があったらいいと思う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>○悩み相談</li> <li>○ボランティア活動への参加</li> <li>・働いている方でも活動できるよう、土日などの開催。</li> </ul>	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで行きあうこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで行きあうこと(共助)	市が行きあうこと(公助)
保護者が活動中の ○託児（安心して活動できるよう） ○場の提供	保護者が活動中の ○託児（安心して活動できるよう） ○場の提供	保護者が活動中の ○託児（安心して活動できるよう） ○場の提供 研修会等の参加。	保護者が活動中の ○託児（安心して活動できるよう） ○場の提供 様々な悩みがあるので窓口は一本化でもいいが各種の相談にのれるような体制づくり。（情報共有、連携）

## ○民生委員・自治会

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
地域コミュニティ、市民活動	民生委員	民生委員の調査能力が現状把握（老人、若者問わず、問題の有無の把握）の量、質とも限界にきているのではないかと。いつまでもボランティアまかせではパンクする。現状の把握には色々方法があると思うが、若い民生委員がもっと多くいて良い。手当も考えよう。	
<b>家族や自分で取り組むこと(自助)</b>	<b>隣近所など身近なみんなで行き届くこと(互助)</b>	<b>社協や団体など、地域ぐるみで行き届くこと(共助)</b>	<b>市が行き届くこと(公助)</b>
まわり近所の状態を知ること。 (プライバシーを守りながら)	話題の交換。	自治会への提案。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報による報告、お知らせ。</li> <li>・自治活動のアピール。</li> </ul>

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
—	—	区長を中心に、このような語ろう会があると皆様（区民）に協力していただけたらと思います。	
<b>家族や自分で取り組むこと(自助)</b>	<b>隣近所など身近なみんなで行き届くこと(互助)</b>	<b>社協や団体など、地域ぐるみで行き届くこと(共助)</b>	<b>市が行き届くこと(公助)</b>
周りを見ても個人個人で大変です。	今は公園の清掃（落ち葉）を組内でしています。	もっと話し合いがほしい。個人個人で守り生活をしている。	一人暮らしの人のサポート？

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
—	—	民生委員の区長連携。	
<b>家族や自分で取り組むこと(自助)</b>	<b>隣近所など身近なみんなで行き届くこと(互助)</b>	<b>社協や団体など、地域ぐるみで行き届くこと(共助)</b>	<b>市が行き届くこと(公助)</b>
—	—	—	—

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
民生委員の活動を地域で支える	福祉全般	民生委員の活動を地域住民が理解し、協力することで活動の負担感を減らす。	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで取り組むこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで取り組むこと(共助)	市が取り組むこと(公助)
民生委員とは何か理解する。民生委員と知り合う。	民生委員を紹介する。助け合うことの重要性を説く。	区長、区役員をはじめ、地域で民生委員を支える仕組みを作る。	民生委員の活動の周知。協力員の身分保障。

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
話し合い	—	区長と民生委員の話し合いを。縦のつながりではなく横のつながりを。	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで取り組むこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで取り組むこと(共助)	市が取り組むこと(公助)
—	—	—	話し合う場所作り。

## ○地域交流

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
—	—	夏祭りなどの地域活動を活発にすることで、“きずな”を深める必要がある。(共助のため)	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで取り組むこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで取り組むこと(共助)	市が取り組むこと(公助)
積極的に参加する。(地域の行事に)	—	モデルケースを作り紹介する。	助成金などで補助。(自立するまで)

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
地域交流、話し合い	—	市の取り決めをする人たちの信頼関係を深めるために、このイベントのような（ワールドカフェ）話し合いで分けて場を持たずに一緒になって話し合ってもらいたい。もちろん、その中に市民の参加があってもいいと思う。	
<b>家族や自分で取り組むこと(自助)</b>	<b>隣近所など身近なみんなで行くこと(互助)</b>	<b>社協や団体など、地域ぐるみで行くこと(共助)</b>	<b>市が行くこと(公助)</b>
小郡市の取り組みに関心を持つ。	—	—	どのようなことをやっているのか、定期的に発信してほしい。

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
元気になろう	自信	挨拶を自信をもってしていこう。（名前を呼ばれたら大きい声で返事を！）	
<b>家族や自分で取り組むこと(自助)</b>	<b>隣近所など身近なみんなで行くこと(互助)</b>	<b>社協や団体など、地域ぐるみで行くこと(共助)</b>	<b>市が行くこと(公助)</b>
病院でも学校でも大きな声で返事、挨拶をしていこう。	隣近所の人を常に気にかけて、声を掛ける。	社協は自分の仕事が市民と直接結びつくのを意識して活動しよう。	市役所の人達も市民に対して自信を持って挨拶しよう。

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
みんなが顔見知りになる	—	子どもがあいさつしない→知らない人（怖い人についていけないと教えている）地域の人と子どもが顔見知りになれば、自然とあいさつできるようになるのではないかな。地域の人（大人も子どもも）気軽に集まれる場所を！屋内？屋外？常設？イベント時？	
<b>家族や自分で取り組むこと(自助)</b>	<b>隣近所など身近なみんなで行くこと(互助)</b>	<b>社協や団体など、地域ぐるみで行くこと(共助)</b>	<b>市が行くこと(公助)</b>
地域に共に住んでいる人たちの顔と名前を覚える努力をする。	自分たちが住む地区で多くの人が集まれる場所はどこか、いつ集まるといいかなど考える。	—	より取り組みが行われている情報を積極的に集め発信する。

## <移動手段・交通>

### ◆よくしたいところ

おごおりの（福祉で）もっとよくしたいところは・・・	説明
<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢の方々が少しずつ多くなっている関係で、交通手段を考えていただきたい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・同居世帯が多くなっている地区に住んでいるので、買い物に行く手段が困っているのでも市の方も考えてほしい</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・買い物難民への対処を考えてほしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イオンが水没したとき、高齢者のひとり住まいの方がとても不便な生活をされていた。市(福祉)として対処してほしい</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・車イスでも行ける所がほしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まだまだ行く所が限られている</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・西鉄小郡駅とレールバスの小郡駅を乗りかえしやすくしてほしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ほぼ同じ場所にあるのにどちらからでも駅を出て、道に出て、3～5分位かけて乗りかえないといけないのはとても不便。特に高齢者や子どもには、しんどい</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティバスの通路</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・行き先をわかりやすく表示してほしい。行きはよいが帰りは迷路。特に高齢者は迷います</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティバスの対策をお願いします</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大通りではなく、村中、生活通りを考えてほしいです</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティバスの活用、路線、運用体制をはかる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・独居老人の足の確保</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティバスをもっと良くする</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日曜運行。行き先がわかりにくい。乗り継ぎできない</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティバスが利用しにくい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・目的地に行けない。日曜日でも動いていない。もう少し活用できるように時間割を見直してほしい</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティバスを日曜日でも運行してほしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・週末や祝日も小郡市内の施設を利用したい</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティバスの運用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時間のロスが多く、もっと活用すべき</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通手段がコミュニティバスしかない。便数が少なく、ルートが不便。行きたいところへ行けない。宿泊施設がない、商業の活性化（買い物が不便）。市の南北、宝満川東地域の活性化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災への対策、高齢者、認知症予防に力を入れてほしい</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・もう少し町に活気がほしい</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コミュニティバスをもっと増便してほしい</li> </ul>

・市内の移動が大変	・コミュニティバスのルート、時間の改善。運転手には元気な高齢者を活用する
・交通が不便。コミュニティバスがあるが、日曜日など休みで不便	・バスに間違っ乗ったり、日曜日は休みで買い物や移動に困る！！

## ◆よくしたいところを改善する取り組み

### ○コミュニティバス

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
交通手段	—	コミバス、ルートをわかりやすく。車いすは乗れる。	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで取り組むこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで取り組むこと(共助)	市が取り組むこと(公助)
—	—	—	バス停の名前を見てわかるように。

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
コミュニティバスについて	移動手段	コミュニティバス…もっと小さくして6～10人乗りの乗り合いタクシーに。価格も1人100円～200円に。どこでも手をあげたら乗れるように、または2、3人集まってTELしてきてもらう。	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで取り組むこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで取り組むこと(共助)	市が取り組むこと(公助)
同じ方向の人がいたら一緒に誘う。	—	—	乗り合いタクシーを。

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
—	市政、市	コミュニティバスのダイヤ運航便の検討、変更。施設を中心としたダイヤより、住民の必要度を勘案したダイヤ編成（急便、欠便、時間変更）。	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで行くこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで行くこと(共助)	市が行くこと(公助)
—	—	—	まず全体に対して同じテーブルで同じ話を聞く。(問題意識の共有)

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
—	—	コミュニティバスがもっと自分の住む町に便利にしたい。100円バスにこだわらず、運転する人にも収入が増えるようにしてください。	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで行くこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで行くこと(共助)	市が行くこと(公助)
中国のように、誰でも参加できる体操の日があればほしいな。	—	—	道の駅が、ほんとに欲しい。市の活性化のためにも。

## ○新しい移動手段

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
移動手段確保の支援	—	買い物難民、自力での移動が困難な方々への移動の支援事業の立ち上げ、移動は個人の大切な権利。これを支援する組織の立ち上げ、市、社協が全面的にバックアップして移動困難者を支援する。	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで行き先(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで行き先(共助)	市が行き先(公助)
—	一人で歩いて買い物できない高齢者の方々を何とか支援していきたい。	移動困難者のための組織の立ち上げに社協、行政が協力する。	第二次福祉計画にやさしい町づくりをテーマに、誰でもが自由に移動できる体制を完備する。

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
—	移動手段	交通手段がない人は、足で歩くことも困難な人が多い。そんな人の対策には個人個人が利用できる車が必要！（タクシーではお金が持たない）そこで、車の運転の手伝いができる人を登録し、個人のニーズに対応できるようなシステム作りを！そのためには市や社協も関り事故への対応（保護）はお願いしたい。引きこもりがちな交通の手段のない人にはこれしかない！	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで行き先(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで行き先(共助)	市が行き先(公助)
—	—	・ボランティアをしても良い人の登録制度を！ ・事故の対応（保険）。	・ボランティアをしても良い人の登録制度を！ ・事故の対応（保険）。

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
移動手段	登録制	<ul style="list-style-type: none"> <li>・車の免許を持っている人による外出支援。必要な時に依頼できる仕組み</li> <li>・登録制・マッチング</li> <li>・乗り合いは調整が必要。</li> </ul>	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみなんで取り組むこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで取り組むこと(共助)	市が取り組むこと(公助)
—	ご近所同士の声掛け。	地域に合った仕組みづくり。	保険、安全性の確保・研修。

## <人材・資源>-----

### ◆よくしたいところ

おごおりの（福祉で）もっとよくしたいところは・・・	説明
・老人の活用	・元気なシルバー世代の人を子育て、教育に力を発揮してもらおう手立てをつくる
・元気な高齢者をもっと外へ！	・体力も元気もある高齢者をもっと活用し、支援する方へまわってもらう
・手話通訳者が増えるといいね。聞こえないでも声をかけていきたいけど難しい	・空き家を交流の場
・学校の先生が忙しい	・忙しい先生方の手助けをしたいと思っても、どうしていいかわからない
・豊かな人材をつなぐ	・せっかくの人材、面白い人たちを発掘できていない気がする。表に出てもらい、その人たちをつないでいくと、いろんなことができそう
・民生委員になってもらえる人を多くしたい	・民生委員に対する報酬等を多くしてほしい

## ◆よくしたいところを改善する取り組み

### ○高齢者

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
定年後の男性を引っ張り出す	隠れた人材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 団塊世代（→力を持っている）を地域に引っ張り出し活動、活躍してもらおう。</li> <li>・ 市内交通網の充実など行政にできないこと。</li> <li>・ イベント開催（自然（宝満川等）・七夕神社…出会い）を利用したもの。</li> <li>・ 移動販売。（絶対増える買い物難民）</li> </ul>	
家族や自分で取り組むこと（自助）	隣近所など身近なみんなで行き届くこと（互助）	社協や団体など、地域ぐるみで行き届くこと（共助）	市が行き届くこと（公助）
—	—	—	—

### ○障がい者

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
手話通訳の活用	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 市、主催のイベントでは、手話の活用は素晴らしいと思います。</li> <li>・ 小中学校の入学式、卒業式での手話通訳の活用をしてはどうか！（校長先生等の話、保護者等に対して）</li> </ul>	
家族や自分で取り組むこと（自助）	隣近所など身近なみんなで行き届くこと（互助）	社協や団体など、地域ぐるみで行き届くこと（共助）	市が行き届くこと（公助）
—	—	—	—

### ○民生委員

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
民生委員活動の見直し	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 民生委員と高齢者がともに触れ合う場への市の支援とボランティアの発掘！</li> <li>・ 福祉委員制度の確立。</li> </ul>	

家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで取り組むこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで取り組むこと(共助)	市が取り組むこと(公助)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・身内の見守り活動。</li> <li>・民生委員として区の住民の安心安全の町作りへの参加。</li> </ul>	一人暮らしの人との交流。	ふれあいネットの充実。社協バスの増便。ふれあいネットのバスハイクの人数が多く今のままでは乗れない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉委員制度の早急な制度化。</li> <li>・社協バスをあと1台増やしてほしい。</li> </ul>

## ○人材育成

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
人材育成 (ボランティア不足)	子育て世代の人材	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子育てサークルの育成。</li> <li>・子育て支援センター等を活用した若い子育て世代が輝き、活躍できる場の提供。→ボランティア活動の喜び→評価！！</li> </ul>	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで取り組むこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで取り組むこと(共助)	市が取り組むこと(公助)
家族で協力して、時間をつくること。	定期的に集まり、語り合うこと。	サークル活動の活性化。	場の情報提供。

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
福祉従事者へのインセンティブ	介護士、保育士等の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・従事証明を提示して買い物の割引※協力店の確保。</li> <li>・市の交付する証明書等の手数料免除。</li> <li>・市税の減免。</li> <li>・保育所の優先入所。</li> </ul>	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで取り組むこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで取り組むこと(共助)	市が取り組むこと(公助)
—	—	割引料金やポイント付与など特典に協力。	協力店の確保、税の減免手数料の免除、保育所入所の便宜。

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
豊かな人材をつなぐ～6万分の〇〇！△△マスターへの道	人材	小郡市人口6万人弱 中には様々な人材がいると思います。 スポーツ、文化、特技等々。	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで取り組むこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで取り組むこと(共助)	市が取り組むこと(公助)
市民の力で何か地域に貢献できることを感じてもらう。また関心があるものを見つける。	地域での関心事を共有する。	人材育成とマッチングの方法。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金とか、報酬等無視</li> <li>・主体性を持たせる。</li> </ul>

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
保育士、介護士の確保	人材	幼稚園、保育所の保育士不足、介護関係の人材不足は深刻である。若い人がこの方向に向かえるように環境改善、待遇改善をまず優先して進めるべきである。(外国人の導入に走るのは良くない)	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで取り組むこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで取り組むこと(共助)	市が取り組むこと(公助)
—	—	安心して働ける環境づくり。	給料を上げる、環境改善の支援策を考える。

## ○その他

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
観光資源を増やす	観光	今、小郡の観光場所は「かえる寺」と「七夕神社」くらい。もっと増やして多くの人が小郡市を訪れるようにすれば活性化すると思われる。花立山や宝満川を生かした観光場所を作ったらどうか。	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで取り組むこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで取り組むこと(共助)	市が取り組むこと(公助)
—	—	—	宝満川の整備。(もっときれいな水が流れるように)

## <情報・PR>-----

### ◆よくしたいところ

おごおりの（福祉で）もっとよくしたいところは・・・	説明
・広報に意見を募集するコーナーをつけてほしい	・どういう意見を市民が持っているか、もっと知ってほしい
・PRが下手	・小郡市の自慢できるところが少ない
・情報共有が難しい	・情報を共有しないと弱者に対して対応が難しいが、守秘義務との兼ね合いで対応が難しい

### ◆よくしたいところを改善する取り組み

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
これナニ?! やってみたい、行ってみたい	見つけて! やってみて	行事の内容、取り組みの内容やお知らせなど文章が多いチラシやパンフレットがたくさんある。見るのも読むのも大変だし、よくわからない。4コマ漫画や短い動画で教えてほしい。	
<b>家族や自分で取り組むこと(自助)</b>	<b>隣近所など身近なみんなで行き組むこと(互助)</b>	<b>社協や団体など、地域ぐるみで行き組むこと(共助)</b>	<b>市が行き組むこと(公助)</b>
気になるチラシなどの内容は問い合わせ先に連絡する。	一人でやらない、やれないなら問い合わせ先に相談。	—	—

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
外国人対策	—	外国人を受け入れる際に、 ・各行政区のルール（決まりごと）の説明。 ・交通ルールの指導。	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで行くこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで行くこと(共助)	市が行くこと(公助)
	—	交通ルール（自転車）については、公安委員会（警察）で指導してもらいたい。	行政区での説明は厳しい。基本的なことより市担当者から説明してもらいたい。

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
情報発信と案内板強化	情報	・広報誌や回覧物を“読みたい”と思える魅力あるものにして情報発信。 ・町の看板をわかりやすく。 ・市の施設、観光資源の案内を。	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで行くこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで行くこと(共助)	市が行くこと(公助)
—	—	地域のおすすめ資源のPR（手作り看板など）。	施設案内板の整備。

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
—	広報誌	小郡広報誌に一月、一言、体・食について必ず書く。一人住まいの人の気を引く小郡を見るようにする。	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで行くこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで行くこと(共助)	市が行くこと(公助)
—	—	—	—

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
情報	PR	小郡市長が報道関係であったので、報道を利用して小郡市をもっとPRしてほしい。	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで取り組むこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで取り組むこと(共助)	市が取り組むこと(公助)
小郡市の魅力をFBであげる。	—	イベントとかPRしてほしい。	イベントをPR。

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
—	PRの仕方	—	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで取り組むこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで取り組むこと(共助)	市が取り組むこと(公助)
—	—	七夕神社など有名な場所のPRが少ない？	手話の方々の出番が少ないと感じています。例えば小中の入学式、卒業式など。

## <施設・設備>-----

### ◆よくしたいところ

#### ○健康・福祉

おごおりの(福祉で)もっとよくしたいところは・・・	説明
・健康を増進、維持するための施設が少ない	・“歩く、走る”の場はあるとしても、施設でその人にあったメニューを作ってくれたりする人や器具を使つての場がない
・障がい者のこと	・障がい者交流センターを早く作ってほしい。併設して高齢者が交流できる施設！！ ・ひとり暮らしの高齢者、障がい高齢者の福祉を充実
・子育て環境をもう少しスピードをもって。	—
・社会福祉協議会が市役所の近くにあれば便利になるが…	—

・障がい児、者の就業施設の整備	・障がい児から大人へのステップとなる就業施設が整っていない（トイレが和式の所もある！）
・点字ブロックの整備	・点字ブロックを整備し、目の見えない人が移動できるようにする
・飲食店等のバリアフリー化	・カラオケ店やレストランなど車いすで入店できない所がある
・バリアフリーの充実	・飲食店や娯楽施設に段差解消や車いすの方が通れる通路への配慮をしてほしい

## ○道路

おごおりの（福祉で）もっとよくしたいところは・・・	説明
・高齢者等長く歩く人のために道路にベンチを置いてほしい	・車の運転ができなくなった人やコミュニティバスの利用もできにくい人など、歩行を長くする人にとって途中で椅子（ベンチ）があつたら助かる
・道路がバリアフリーになってほしい	・歩道があつてもデコボコしている道が多い。車いす、目の見えない人、ベビーカー…歩きにくいところが多い
・道路（歩道）の整備	・ベビーカー、車いす、杖利用の方など安心して外出できる環境づくり。自立支援につながると思います！！
・自転車専用スペースの確保 ①道路 ②駅周辺	・西鉄大牟田線各駅までの利便性提供は行政として再優先課題。ぜひビジョンを示してほしい
・道…歩く人のための道路がない。車中心になっている。車の道路も修復してもらいたい	・福祉のこと、大切なことを株式会社にかかせるのではなく、市の職員の方で…まるなげしているようで心配です。市職の方がもっと努力して私たちのためにご活躍してください

## ○その他

おごおりの（福祉で）もっとよくしたいところは・・・	説明
・道の駅を作してほしい	・買い物ができる
・小郡市は「コレ」という特産物または施設（娯楽施設や商業施設、道の駅など）の誘致を！！	・交通の便を生かして施設の誘致を！！観光資源の開発を！！→高齢者、障がい者限らず誰でも働く場の提供につながる

・宿泊施設がない、観光施設が少ない	—
・プールを作ってください ・店がない	—

### ◆よくしたいところを改善する取り組み

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
老人（高齢者）支援	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あすてらすの活用。</li> <li>・行政区（老人クラブ）別の無料入浴券を配布←（経費不要、決断次第で明日からでもできる）</li> </ul> 市内、高齢者の利用度が低いのでは？一方では市街の利用が多く特定者で固定化している。	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで取り組むこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで取り組むこと(共助)	市が取り組むこと(公助)
連絡便（コミュニティバス）を含めて全体的に見直しを！！	連絡便（コミュニティバス）を含めて全体的に見直しを！！	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宝満の湯、貸施設の実態調査</li> <li>・料金体系の見直し…</li> </ul>

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
あすてらすの有効利用	健康	あすてらすの有効利用。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・あすてらす無料券を市で発行する。</li> <li>・行政で利用されていない方に関心をむける。</li> <li>・宝満の湯を有効利用…いい意見など話し合いもできるのではないかと。コミュニティバス。</li> </ul>	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで取り組むこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで取り組むこと(共助)	市が取り組むこと(公助)
—	隣組で出かける機会をもうける。	ボランティアの方に宝満の湯の無料券を贈呈する。	循環バスの有効利用。

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
バリアフリーのまち	移動	段差がない町作り。どこにでも車いすで行けるようにする。	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで取り組むこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで取り組むこと(共助)	市が取り組むこと(公助)
—	どこに段差があるのか、地域チェックする。	ハード的に整備が難しい所を人の力を借りてクリアする仕組みづくり。	できる限りハード的な整備をする。

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
—	—	地域の公園整備をすることで憩いの場を充実させてほしい。	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで取り組むこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで取り組むこと(共助)	市が取り組むこと(公助)
草取りなどに参加する。	井戸端会議で地域の人々のコミュニティが作れる。	ベンチやトイレの清掃。	公園の個所を増す。

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
どこにあるの？	—	施設等の場所が分かりづらい。	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで取り組むこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで取り組むこと(共助)	市が取り組むこと(公助)
・見たい、知りたい、行きたいの関心をもつ。 ・家族はしっかりキャッチする。	一人暮らし、高齢者等への身寄りの関わりをもつ！行きたい場所へ連れて行く。	案内板等の表示をわかりやすく工夫する。一目でわかることが大事。	・道路等の整備。ちょっと座りたい！（ベンチがあったらいいなあ！） ・高齢者等が一人でも気軽に外出できることが大事（見やすい案内板、バリアフリー等）

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
歩道にベンチを！	歩く手段の援助	車の運転ができなくなって、どうしても足で歩くことが必要になった人は長く歩くことが困難な人も多い。歩道のところどころにベンチがあるととても助かると思う。健康のため、ウォーキングされるお年寄りの人も安心して歩くことができるのではないのでしょうか。	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで行き届くこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで行き届くこと(共助)	市が行き届くこと(公助)
—	—	ベンチの設置	ベンチの設置

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
ランチの充実	施設	昼食を食べる適当なところが少ない。結局市外に行ってしまう。(子連れでも行きやすいとなおよし)	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで行き届くこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで行き届くこと(共助)	市が行き届くこと(公助)
—	—	ミシランでは店の名前と場所しかわからないのでメニューや値段もあるフリーペーパーくらいの情報がほしい。	—

## <防災>

### ◆よくしたいところ

おごおりの(福祉で)もっとよくしたいところは・・・	説明
・防災体制をもっと実質的に動けるものとしてほしい	・自治区単位で組織されている自主防災組織は「絵に描いたもち」の状態の区が大半である。要支援者の把握、避難ルート、避難所の利便性など改善点は多い
・防災リーダーの活用がされていない	・地区に帰ってもなんの活用もされていないし、区長とのつながりもない。せっかくしているのに活用してほしい

・防災リーダーをもっと活用する	・リーダー養成してそのままというのはもったいない
・災害に対する意識が低い	・災害は自分のところには来ないと思っている人が多い
・防災に関する知識、訓練を多く活用する	・突発的な災害（地震）から、災害弱者をどう守っていくか
・南北、東西の格差の是正	・小郡の地勢、南北、東西の災害弱者をどう救出するか
・防災について	・避難所の範囲をせまくしてもらいたい
・災害に対する取り組みの強化	—

### ◆よくしたいところを改善する取り組み

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
防災に強い町にしよう	防災	自主防災組織。→民生委員や区長だけでは負担が大きい。役割分担を決めておくべきでは？	
<b>家族や自分で取り組むこと(自助)</b>	<b>隣近所など身近なみんなで取り組むこと(互助)</b>	<b>社協や団体など、地域ぐるみで取り組むこと(共助)</b>	<b>市が取り組むこと(公助)</b>
自主防災組織がどうゆうものか、興味を持つ。	民生委員や区長などに頼りっぱなしにしない。	防災についての学習会など開き、意識を高める。	組織を作るのはいいが、何をやっていいかわからない人が多い。→もっと分かりやすく伝える。

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
防災訓練	—	自主防災組織の活動が一部の役員や民生委員などに偏っているので、組織の具体的な役割分担を明確にし、それぞれの役割を認識させる取り組みを市の担当部署が指導してほしい。(組織の結成から活動の強化へ)	
<b>家族や自分で取り組むこと(自助)</b>	<b>隣近所など身近なみんなで取り組むこと(互助)</b>	<b>社協や団体など、地域ぐるみで取り組むこと(共助)</b>	<b>市が取り組むこと(公助)</b>
—	—	—	市防災部局の強化。

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
災害に備える	備えあれば患いなし	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高原良川に石、砂がかなり蓄積している。</li> <li>・今年の雨量でもかなり水位が上昇。</li> <li>・被害の起こる前に早目に石、砂を処理し、水害に備えること。</li> </ul>	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで取り組むこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで取り組むこと(共助)	市が取り組むこと(公助)
ゴミを出さないように注意する。	ゴミなど。	—	重機などリースで有効効率をはかる。

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
防災機器の場所	防災	各行政区で防災について考えているが、いざ災害になった場合にどこに、防災機材があるのか分からない。	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで取り組むこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで取り組むこと(共助)	市が取り組むこと(公助)
防災機材のある場所の確保。	防災訓練の実施。	防災機材の整備。	防災機材の場所の地図の作成。

## <自然・環境>-----

### ◆よくしたいところ

おごおりの(福祉で)もっとよくしたいところは・・・	説明
・宝満川があるところ！！何か人々が利用できるようなことができたと思う！！	・子どもの頃、学校にプールがなかった時代、この宝満川で泳いで遊んでいました。川魚を捕り、店もない時代でありながら、川魚を食べて育ちました 69歳
・宝満川を昔のようにもっとキレイに！！	・昔はみずがもっとキレイだった。小郡市のふるさとのシンボルでもある宝満川をキレイなまま残したい
・農業の特産品化	・特産品がない
・これ以上家を建てないで、自然を残していきたい(農業)	・もっと小郡の特産物を作っていく
・景観が良いので、もう少しイベントなどに活用することができないかと思います	—

## <市役所・社会福祉協議会>-----

### ◆よくしたいところ

おごおりの（福祉で）もっとよくしたいところは・・・	説明
・ひきこもり高齢者のふれあいを企画（選択肢の提示）	・ひきこもり高齢者の増加が見られる。健康、福祉テーマの講座の整理を行い、選択肢を広げてほしい
・ひきこもりの方（高齢者や若い方も）にふれあいの場へ来てもらえる企画を考える	・チラシ、お誘いでお知らせしてもなかなか出てきてもらえない。地域だけでは浮かばないので良かったところや成功したところを教えてもらって利用できるようになったら良い
・市や社協が障がい者施設のパイプになってほしい	・和式のトイレが多い。こぐま学園も市で協力してほしい
—	・障がい者に対してやさしい町と聞きますので、活動を推進してもらいたい
・福祉の充実	・地域の隣組との取り組みが重要である。住民参加型を多く取り入れる。閉じこもり・みまもり
・健康の取り組み	・健康教室などを行い、元気な人を増やす
・人口増対策	・子育ての環境が良い、教育の環境が良い、を目指して
・まちづくりの取り組み	・地域性も大事だけど、ある程度共通したやり方がないとやりにくい
・「おごおり福祉トーク」今後継続していくのなら、テーブルカフェでの話は話題を決めてやったほうが良いと思う	・本日やったのは初めてのこともあったが、老人（会）、認知症のこと、子育てのこと、ひとり暮らし、交通の便と話題が広がる

### ◆よくしたいところを改善する取り組み

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
—	—	市の方々（社協等）もっと前に出て行って声掛けをして下さい！なかなか渋って老人は家から外へ出て行こうとされず、顔を見せられません。少しでも明るく家に電気が付いたら近所の方へ声掛けをお願いし、確認したらよいかと思っています。私自身69歳。声掛けしていますよ！	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで行くこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで行くこと(共助)	市が行くこと(公助)
—	—	—	—

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
校区社協の設置	—	地域（校区）の福祉活動の広がりをもとめるため、小校区ごとの社会福祉協議会の設置を進めたらどうか。	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで行くこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで行くこと(共助)	市が行くこと(公助)
—	—	—	—

### <その他>

#### ◆よくしたいところ

おごおりの（福祉で）もっとよくしたいところは・・・	説明
・古き良き時代	・小郡内部だけの意見であり、新しいこと、時代、小郡外の状況を見た上での意見になっていない。だから若者はこういうことに参加したくない。観光名所もなければ泊まれる場所もない。取り残されて同じような意見ばかりで発展しない。良い部分ではあるが
・ゴミの袋を（大の方）もう少し大きくしてください	—

## ◆よくしたいところを改善する取り組み

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
剪定ゴミの集め方	—	1. 剪定ゴミの捨て方。 2. 高齢者、一人暮らしの方が、簡単に捨てやすい方法を考えてほしい。	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで行き届くこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで行き届くこと(共助)	市が行き届くこと(公助)
できるだけ土に還す方法で行き届く んでいる。	高齢の人が多いため難しい。	軽トラックなど持っている人で集 めてほしい。	剪定専用のゴミ袋を作ってもら い。

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
剪定ゴミ出しをヘルプ	地域コミュニティ	剪定ゴミを集積所に持って行きやすくする。(重くて大変。高齢化で 今後ますます困難な人が増える)	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで行き届くこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで行き届くこと(共助)	市が行き届くこと(公助)
まずは自宅の庭木は自分で剪定。 (業者でも可)	共用のリヤカーや軽トラで回収 (ヘルプ) して回る。	リヤカーや軽トラを行政区で管 理、民生委員さんとの連携でヘル プが必要な人を把握する。	仕組みづくりの支援補助。

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
剪定ゴミの出し方	暮らしやすい町	決まっている場所に持って行きやすい方法を考える。行政区によっ ては軽トラック等の準備があるので出しやすい。が、私達の所にはな い。高齢化による人たちは？どうすれば。	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで行き届くこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで行き届くこと(共助)	市が行き届くこと(公助)
ゴミはきちんと出すこと。	声を掛ける。	区全体の問題として改善するよう に話し合いを設けること。	市民の声が届いていないのでも っと改善をしてほしい。

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
剪定ゴミの収集方法を改善する	ゴミ収集	剪定ゴミは大型で、形が定まらない等、一か所に集めるのが大変である。(重い) 特に高齢者、身障者の方は無理になる。	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで行うこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで行うこと(共助)	市が行うこと(公助)
従来通り集積場所に運搬する。運ぶのが難しい人は家の一部にためておく作業まではやる。	—	区の取り組みとして、月一回程度のボランティアによる収集作業を行う方式を具体化する。(空き缶収集を中学生がやっている地域あり)	従来通りチップ化作業のみが良い。

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
犬、猫の飼い方	きれいな町づくり	犬猫を放して自由に外に出している、また散歩の時落とし物を必ず持ち帰ること。畑に小犬をされて困っている。	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで行うこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで行うこと(共助)	市が行うこと(公助)
出さない。	気付いたら声掛けをする。	出さないように再度確認をする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広報には犬のことはよく書いてあるが、猫のことも</li> <li>・出さないことをもっと市民に呼び掛けること。</li> </ul>

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
七夕の町小郡	—	七夕神社はいつもいつも淋しい。人の来られる名所にするには？	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで行うこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで行うこと(共助)	市が行うこと(公助)
—	—	—	宣伝をする等もっと小郡の町作りをする上でも大事。

トリクミ名	キーワード	トリクミの内容	
小郡駅メインストリートをにぎやかに！	集いの町	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民祭りのときはにぎやかだが、普段どちらかというとさびしい。</li> <li>・メインストリートで年に何回かイベントをすればいいのでは。</li> </ul>	
家族や自分で取り組むこと(自助)	隣近所など身近なみんなで取り組むこと(互助)	社協や団体など、地域ぐるみで取り組むこと(共助)	市が取り組むこと(公助)
SNSで。	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商工会や地域で話し合いをする。</li> <li>・市報に載せる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・色んな方を（有名人）招待。</li> <li>・交通整備への対応。</li> </ul>

---

## 5 ワークショップ内容のまとめ      (市民団体ワークショップ)

---

## ■小郡市の福祉で“いいところ”（強み）

### <地域コミュニティや市民活動>-----

#### ○高齢者

小郡市の福祉で“いいところ”（強み）
・高齢者の多い地域では日常の買い物を代わって行う等、また、地域で採れた野菜等を公民館等で販売する等買い物に行けない方には有り難い事だと思います。 ・2～3か月に一回公民館にてカフェを開き地域の方に開放して交流を深める。とても良い事だと思います。
トリクミ名：－
－

小郡市の福祉で“いいところ”（強み）
健康福祉に積極的に取り組んでいる
トリクミ名：－
もっと低年齢で取り組んでいければベターだと思う。

小郡市の福祉で“いいところ”（強み）
高齢者増→サロン増—高齢者同士のつながり
トリクミ名：－
－

小郡市の福祉で“いいところ”（強み）

- ・高齢者が増えていて、いろんなことをされている  
（三国カフェ）
- ・認知症の方の見守り体制ができつつある。

↓

より充実を

トリクミ名：－

－

## ○障がい者

小郡市の福祉で“いいところ”（強み）

障がい者の方への対応が充実（手話通訳や要約筆記 etc...）

トリクミ名：Smile～小郡が笑顔な町に！～

お祭りや地域の行事でも、障がいの有無関係なく参加しやすい町に！！

## ○子ども

小郡市の福祉で“いいところ”（強み）

高校生や学生の集まる場所が無い。勉強する所も。

トリクミ名：－

広域的に増やして！！

## ○民生委員

小郡市の福祉で“いいところ”（強み）
民生委員が頑張っておられる
トリクミ名：－
民生委員の活動をもっと市民に知ってもらい、忙しいので市民が協力できることをしてもらおう。次の人材を育てる。

小郡市の福祉で“いいところ”（強み）
まず、福祉とはで始まり、奥が深く、幅があります。その中で小郡市はとくに民生委員の活動があげられます。
トリクミ名：みまもり、相談、ふれあいサロン等
－

小郡市の福祉で“いいところ”（強み）
地域福祉に対する民生委員の活動は活発
トリクミ名：－
でも民生委員に地域福祉が頼り過ぎであり、負担軽減と地域福祉の輪を広げるため、校区社協の設置も検討して欲しい。

小郡市の福祉で“いいところ”（強み）
民生委員の方が熱心に頑張っておられる
トリクミ名：－
－

## ○地域交流・連携

小郡市の福祉で“いいところ”（強み）
各いろんな VO（ボランティア）団体は充実している ・民生委員          ・傾聴ボランティア          ・手話の会          ・要約筆記          ・保育団体 それぞれに充実した活動をしている
トリクミ名：－
いろんな団体の連携をまとめるところがほしい

小郡市の福祉で“いいところ”（強み）
保育園の園児と地域の敬老会で交流を行っている。
トリクミ名：－
もっと行事や活動を増やしたいけど、仕事量が多いので、保育士の人数を増やしてほしい。

小郡市の福祉で“いいところ”（強み）
福祉サービスが充実している
トリクミ名：－
いろんな世代が交流して、どんな人でも受け入れが行えるよう、交流会（スポーツ・レク）を地域の取組として行いたい

小郡市の福祉で“いいところ”（強み）
地域ごとに、その場その人その年代に対しての“福祉”の取り組みが行われている。
トリクミ名：－
各行政区、各団体で行われていることを合わせていくと・・・

小郡市の福祉で“いいところ”（強み）
民生委員、ボランティアが熱心
トリクミ名：－
団体の横のつながりをひろげる

## ○その他

小郡市の福祉で“いいところ”（強み）
民生委員やボランティアの方々が熱心である。 施設へのおどり、カラオケ等の慰問活動、レク活動は今後も続けてほしい。
トリクミ名：－
各校区にカフェを設置していくこと、集団（20～30人）で語り合う場所を設置すること

小郡市の福祉で“いいところ”（強み）

市民の意見を聞いてもらえる場がある。

トリクミ名：－

今日のような場を校区公民館でも設ける。

小郡市の福祉で“いいところ”（強み）

- ①三沢遺跡の森を育む会 春秋 山野菜を食べる会 etc.      ②老人クラブでスポーツ  
③地域グラウンド5会無料開放      ④あすてらすの風呂が安い

トリクミ名：－

－

## <移動手段・交通>

小郡市の福祉で“いいところ”（強み）

- ①コミュニティバス ②校区福祉バス（御原・のぞみが丘小学校区）
- ③福祉タクシー④福祉有償運送（移送サービス）
- ⑤一般タクシー等 ⑥電車・甘木鉄道レールバス

トリクミ名：移動支援ネットワーク

福祉が充実するように（高齢者障がい者等にやさしい移動手段）

（誰もが家に引きこもることなく外出できるよう）

- ①コミュニティバス→低床ノンステップ
- ②各校区で取り入れる（交通網がないところ）
- ③事業所の拡大
- ④運営面の援助（継続するため）
- ⑤運転免許証返納者への助成
- ⑥※その他交通公共機関での福祉的支援実施調査

小郡市の福祉で“いいところ”（強み）

- ・コミュニティバスが走っている
- ・コミュニティバスがある

トリクミ名：ふれあいネットソーイング

コミュニティバスの利用者の幅の拡大（小学生の登校、下校時の利用）

## <人材・資源>-----

### ○ボランティア

小郡市の福祉で“いいところ”（強み）
<ul style="list-style-type: none"><li>・ボランティア団体が多い</li><li>・色々なボランティア団体・個人が小郡には多い</li></ul>
トリクミ名：－
<ul style="list-style-type: none"><li>・市民に団体の活動を知ってもらい、個人でも活用できればよいのではないか？</li><li>・家に閉じこもりや、自宅療養されていて心細い方などに傾聴のサービス訪問など・・・</li><li>・ボランティアの名簿・登録を社会協議会で受け付けて市民の依頼・相談の窓口になってはどうか！！</li></ul>
小郡市の福祉で“いいところ”（強み）
活動が長期でできている所がある
トリクミ名：－
今後、市はどう支援していけるかを考慮していけたら
小郡市の福祉で“いいところ”（強み）
<ul style="list-style-type: none"><li>・各校区で困りごとに対してボランティア活動が立ち上がっている（味坂コミュセンお店、御原買い物バス運行）</li><li>・色々なボランティア団体が動いている</li></ul>
トリクミ名：－
－

小郡市の福祉で“いいところ”（強み）
福祉（ボランティア）団体が多い （市の規模の割合のうえ）6万人口
トリクミ名：－
<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉（ボランティア）団体の宣伝（PR）</li> <li>・福祉（ボランティア）団体の横のつながり</li> </ul>

小郡市の福祉で“いいところ”（強み）
ボランティアの団体や個人の活動が活発
トリクミ名：－
<ul style="list-style-type: none"> <li>・連携の充実と具体的な形づくり、結果</li> <li>・ex.社協に窓口数を多く設置し、相談しやすく</li> </ul>

小郡市の福祉で“いいところ”（強み）
各種ボランティア団体・組織が充実している（たくさんの団体、組織がある）
トリクミ名：－
各種ボランティア団体の活動や窓口をもっと広報（紹介）して、利用してもらいたい。

小郡市の福祉で“いいところ”（強み）

地域活動を思いのほか頑張っておられる方が沢山。ボランティアも自分のためと思って続けておられる。  
もっと良い町づくりを願って色々なサークルにも参加出来る。  
素晴らしい環境だと思うので、宝満川を中心に人々が集まれる場所がかなりある。  
緑あふれる地域がいっぱい。

トリクミ名：地域活動を広めよう！

「ボランティアに参加したいけど、どこに行っても話せばよいかわからない」という声も聞き、なんとかならないかと。

小郡市の福祉で“いいところ”（強み）

ボランティアが増えているところ  
(登録していないものもある)

トリクミ名：－

登録していないボランティアの登録  
登録するメリットを周知して登録してもらい、広く市民の方へ知っていただく。

小郡市の福祉で“いいところ”（強み）

- ・子育て支援は充実している
- ・ボランティア活動の種類が多い

トリクミ名：－

傾聴カフェをぜひ！

小郡市の福祉で“いいところ”（強み）
若い人達のボランティア意識が高い（三井高、介護専門学校など）
トリクミ名：－
将来的にも地元で活動しやすくできるようにネットワークをつくる

小郡市の福祉で“いいところ”（強み）
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ボランティアをしている人（団体）が多い。</li> <li>2. 小郡市以外の人でも受け入れをしている。</li> <li>3. 市職員さんの意識が高く、対応を考え、実行してもらっている。</li> <li>4. 市として福祉の向上を目指していて、将来を期待できる。</li> </ol>
トリクミ名：－
上記 1.を利用して、それぞれの団体の利点を生かせる様な、システム及び組織を立ち上げ、福祉の現場で活動する。活動支援を市にも関わってもらい、全体がスムーズに動けるようにして欲しい。

小郡市の福祉で“いいところ”（強み）
ボランティア団体の活動者が多い
トリクミ名：－
合同で出来る場面があれば良いのでは

## ○その他

小郡市の福祉で“いいところ”（強み）
<ul style="list-style-type: none"><li>・民生委員、児童委員の活動が他地域に比べて活発</li><li>・子どもに関する相談窓口が集約されてわかりやすくなった</li><li>・地域には、色んな福祉に参加され、活動されている団体が多い</li></ul>
トリクミ名：－
<ul style="list-style-type: none"><li>・活動されている組織、団体などの情報発信をわかりやすくしてほしい。</li><li>・利用する方法なども教えてもらえると助かるのではないのでしょうか？</li></ul>
小郡市の福祉で“いいところ”（強み）
女性の活動が活発である
トリクミ名：－
村の役職に女性を入れる様にしていく。 (地区内にもっと女性的発想を広めていくこと)
小郡市の福祉で“いいところ”（強み）
ふれあいネットカフェの開催
トリクミ名：ふれあいネットソーイング
ふれあいネットカフェのみならず一人ひとりが持つておられる技術、技能を生かした教え合いで、元気活動の維持等を図る。(例、ふれあいネットソーイング etc.)

小郡市の福祉で“いいところ”（強み）
—
トリクミ名：—
人的資源が豊富である。意見を言える場所をもうける

**<情報・PR>**-----

小郡市の福祉で“いいところ”（強み）
知らなかった相談支援センターがたくさんある
トリクミ名：小郡を知ろうかい（会）
広報、情報発信の機会を増やして知ってもらう

小郡市の福祉で“いいところ”（強み）
たくさんの団体が活動している
トリクミ名：相談窓口明確化作戦
<ul style="list-style-type: none"> <li>・PR活動</li> <li>・リーフレット作成（簡単に！！）（いっぱい情報入れたくなるけど）</li> </ul>

## <施設・設備>

小郡市の福祉で“いいところ”（強み）

介護施設が他市より充実している

トリクミ名：－

空き家を利用して、小地域での生活ができれば施設内でのとじこもりの解消になるのではないかと？

小郡市の福祉で“いいところ”（強み）

- ・ 介護施設が、他地域より多く、充実しているように思う
- ・ 障がい者に対して充実した対策もあると考える、また充実している
- ・ 病院の数が多い

トリクミ名：－

- ・ 高齢者が集って語る場所の充実を図って欲しい
- ・ 高齢者と子ども達が語り合う場所を設けて欲しいと思います

小郡市の福祉で“いいところ”（強み）

- ・ 障がい者とアステラスで入浴する時介助者が半額
- ・ 地域運動公園の年一回の一般開放利用ができる。（障がい者が気がねなく使用できて喜んでます）
- ・ 多目的トイレが増えてきて助かっている

トリクミ名：公共施設の充実

市の公共施設には多目的トイレを増やし、障がい者が気持ちよく使える様に。

小郡市の福祉で“いいところ”（強み）

- ・サポネット、こぐま学園などの施設がある
- ・福祉の学校・施設が多い（6万人口の割として）

トリクミ名：公共施設の充実

- ・良い施設やボランティア活動などPRする（知らない人が多すぎる）

## <防災>

小郡市の福祉で“いいところ”（強み）

避難行動要支援者登録制度は一步前進

トリクミ名：－

民生委員だけでなく、自主防災組織のメンバーとの連携を強めることが必要  
自主防災組織の活動の活性化を

## <市役所・社会福祉協議会>-----

小郡市の福祉で“いいところ”（強み）
個別的には活動も活発であるのに対して、それを表す機会が少ない
トリクミ名：－
団体からある誘いがあれば、まず一度やってみる 市の都合で止めないでください (職員の仕事とか)

小郡市の福祉で“いいところ”（強み）
前向きに取り組んでいるところ
トリクミ名：－
・年代別にアンケートをとってほしい ・市民の声を多く聞いてほしい

小郡市の福祉で“いいところ”（強み）
人口が少ないので市民のまとまりが有るのでは・・・
トリクミ名：－
市民で言葉を発することができない人ほど、大切にしてほしい

小郡市の福祉で“いいところ”（強み）

あすてらすに福祉関係・子育て・健康課等が集約できた事は強みだと思う

トリクミ名：－

あすてらすの幼児の遊びの場（室）の床が固いとの意見。直してもっと乳幼児の親が集まれる場をPRして悩みがあれば子育て支援課に相談できるので改善を望みます。

小郡市の福祉で“いいところ”（強み）

福祉トークにはじめての参加 とても有意義でした

トリクミ名：－

定期的に行い、結果報告も必要だと思います。

## <その他>

小郡市の福祉で“いいところ”（強み）
障がい者・タクシー半額、入浴代・介助の方が半額 ・年1回地域公園グラウンドが無料で使える みはら校区 三国校区のコミュニティバスが便利 民生委員の活動 老人会など一人暮らしの方のふれあい交流
トリクミ名：教えておじいちゃんおばあちゃん
三世代の交流を通して素直な心、豊かな想像力あふれる教育をおぎなう 物に頼らず自分で考えて作る喜びを知る 先輩の特技を学ぶ
小郡市の福祉で“いいところ”（強み）
困った問題に対し行政にて対応していただいている。
トリクミ名：－
包括支援センターを増やしていただきたい（南・北に設置）
小郡市の福祉で“いいところ”（強み）
子ども・健康部がスタートしたので、健診から子育て支援までなだらかな支援を期待したい
トリクミ名：－
－

小郡市の福祉で“いいところ”（強み）

歴史的に見て小郡は三沢遺跡があったり、はげの木がたくさんあり改良して生産量も多く豪商も出てきたことなどをふりかえり、地理的、歴史的良さを再確認する必要がある。

トリクミ名：－

例として、新たに、はげ並木やはげ公園をつくり、それらを育て、出来た果実で化粧品や薬品を作る仕事を子どもと高齢者が一緒になってやっていければ良いなあーと思います。

■小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）

<地域コミュニティや市民活動>-----

○高齢者

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）

- ・認知症カフェはあるが、回数や店舗拡大！
- ・隣組との交流を充実！

トリクミ名：居場所～安心した居場所～

回数を増やすことで、その方の生活リズムの改善や楽しみを見つけ出せるきっかけづくりになるから。

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）

高齢者サロン活動  
押しつけになっていないのか？  
本当に喜んでいるのか

トリクミ名：－

声かけをして、すすんで来られるような雰囲気にする  
一緒に取り組む

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）

高齢者への見守りがマンション等では難しい

トリクミ名：－

現在の民生委員のシステムだけでは難しいため、増員（福祉委員など）が望ましい

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）

高齢者の対応で、認知症の模擬訓練を市全体で行う。

トリクミ名：－

## ○障がい者

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）
障がい者の活動の場が少ない ☆障がいのある方が何も悪いことをしていないのに、声をかけただけで警察に通報されてしまったり、病院の待合室で声がうるさいと怒鳴られたり大変悲しい思いをしています。市民の意識・理解を高めたい
トリクミ名：共生社会って何だろう！
障がい者のスポーツサークルの立ち上げ（コーチの募集など）

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）
障がい者児等の居場所づくりをする。初めは簡単なもので良い。
トリクミ名：－
－

## ○多世代交流

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）
各区で高齢者のサロン活動はやっているが保育園児（子ども）と一緒に活動ができるとよいと思う
トリクミ名：－
年何回も行っている各行政区のサロンの中で1回ぐらいは保育園児（子ども）とのサロンを行う。 一緒に遊ぶ、ゲームする、話をする等

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）

世代間交流の取り組みがもっと必要

トリクミ名：－

校区、自治区で交流できる事業が必要！

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）

空き家が多くなっている。空き家を活用したカフェや高齢者（子ども）が気軽に集える場を

トリクミ名：－

空き家の持主と自治会の間に入って活用についての仲介

持主の固定資産税の減免

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）

高齢者と子どもの触れ合いの場を多くしてほしい（場所の提供）

トリクミ名：－

子どもと高齢者の料理教室（昔の料理、郷土料理の伝承）

## ○その他

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）
<ul style="list-style-type: none"><li>・民生委員は地域行事に参加することが多いため大変である。</li><li>・地域（近所）に店が無いいため買い物が大変である。</li></ul>
トリクミ名：－
<ul style="list-style-type: none"><li>・地域行事（会議を含む）を減らす。特に協働のまちづくり</li></ul>

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）
高齢になっても自由に行動ができるように。 障がいがあっても自由に行動ができるように。 小さい子がいても参加できるように。
トリクミ名：－
－

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）
<ul style="list-style-type: none"><li>・高齢者や障がい者の働く場、参加イベントを増やしたい</li><li>・声を上げない方への支援</li></ul>
トリクミ名：共生社会って何だろう！
<ul style="list-style-type: none"><li>・企業向けの研修（障がい者の就労受け入れについて etc.）</li><li>・高齢者・障がい者の生活状況を共有（個人情報に配慮しながら）し、互いを理解する為のイベント・研修をしたい</li></ul>

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）
男性の引きこもりが多い。活動の場が少ない
トリクミ名：地域コンシェルジュ
—

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが地域から減ってきている</li> <li>・定年後など、それぞれの趣味・特技を活かした取り組みや団体がたくさんあるが、他とつながっていない</li> <li>・様々な取り組みや団体の情報がつながるところがない</li> <li>・縦割り行政で、同じようなことをしている人を整理したほうがよい</li> </ul>
トリクミ名：—
地域の団体の取り組みと困りごとがある人がつながる所、人、しくみ（分野をこえてつながる地域の包括センター的役割を担う所）

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）
<p>現在、校区単位で協働のまちづくり協議会が発足し、健康福祉部会が活動しておりますが、目的等を見直す時期ではないかと思えます。</p> <p>（特に民生委員に負担をかけています）</p>
トリクミ名：—
—

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）
高齢者及び子ども達の遊び場を各行政区毎に設置する。空き家の利用を検討する。
トリクミ名：－
－

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）
地区のコミュニケーション不足（特に男性のひとり住まい）
トリクミ名：－
コミュニケーション不足—1人で生活している男性は孤独で引きこもりがちになる。男性は男性とはあまり話さない。女性を間に入れてやると話しやすい。

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）
地域の行事に家族ぐるみで参加することがほとんどない
トリクミ名：－
地域の人達が知り合いになり、災害等の時に助け合えるように話のできる集まりを持つ

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）
プロバスクラブ、小郡弁の紙芝居を作っている。
トリクミ名：－
プロバスクラブ、小郡弁の紙芝居を保育園で行ってもらう

## <移動手段・交通>

### ○コミュニティバス

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）
・コミュニティバスの利用 時間がかかる ・コミュニティバスの時間の検討
トリクミ名：コミュニティバスについて
アンケート調査が必要

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）
コミュニティバスの活用
トリクミ名：－
コミュニティバス－低床方式、手を上げたら止まってくれる、行き先の実態調査をして活用方法を再検討する。

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）
コミュニティバスを乗合バスにしたらどうか （各区各地域からスーパーまで）
トリクミ名：－
－

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）

- ・コミュニティバスの利用者が少ない
- ・コミュニティバスの車イス用スロープがなく、高さが高いため、障がい者、高齢者が使いにくい。

トリクミ名：共生社会って何だろう！

- ・コミュニティバスについての実態調査（利用したい時間や場所を実態に合わせて検討）
- ・コミュニティバスの高さやスロープの検討

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）

- ・コミュニティバスのステップが高い  
車イスの利用ができない
- ・バス停が遠い

トリクミ名：地域コンシェルジュ

—

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）

福祉バスをもっと有効に利用できるように。

トリクミ名：—

起点をはっきりして、必要な人のニーズに合うよう改善してほしい。

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）

福祉バスが、利用者がいない時も動いている。

トリクミ名：－

福祉バスを利用したい時に動かす（タクシーのように）

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）

福祉バスは利用しにくい。もっと違う方法があるのではないか？

トリクミ名：－

お買い物バス？

小郡市の福祉で“いいところ”（強み）

コミュニティバスの有効利用を考えて朝7:40～8:00 くらいのバスを見ると1名ぐらいしか乗っていないので、小学生の通学ルートであり、子どもを乗せて小学校までおくことはできないのですか？

トリクミ名：－

－

## ○その他

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）
買い物が不自由
トリクミ名：－
移動販売

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）
外に出やすい環境にない
トリクミ名：－
移動手段の充実を！ 福祉タクシーの利用枠を広げ、少額の負担で誰でも利用できるものにする

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）
<ul style="list-style-type: none"><li>・交通の不便を感じる。西鉄バスが通っていないのにびっくり。おとしよりはコミュニティバスが乗りづらいと。</li><li>・若い方が小郡を好んでくれる様な町づくり</li></ul>
トリクミ名：交通網を考えなおそう！
むずかしい問題だと思いますが。良くわかりません。

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）
市のバスを廃止し、行政区毎の自治会バスの運営を考える。実施者の負担が少なくなるように考える。
トリクミ名：－
－

## <人材・資源>-----

### ○高齢者

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）
認知症サポーター講座は開催されているが、1回の講座参加だけでは認知症の理解は不十分
トリクミ名：－
受講済みの人を対象にステップアップ講座を。

### ○子ども

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）
子育てしやすいまちづくり                      保育士不足のため定員の枠がありながら保育所に入れない子どもも
トリクミ名：－
保育士確保のための予算の増額

## ○ボランティア

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）
若い人がボランティアになかなか参加していない
トリクミ名：－
あすてらすフェスタのような福祉関係のボランティア活動や施設の活動を知ってもらい行事を市の中心などで行う。

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）
市はボランティア活動にもっと支援が必要では？ 後継者がいなくなる・・・
トリクミ名：－
活動をしやすくなる支援 ・ 交通費 ・ 必要な物品をそろえる

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）
色々なボランティアがあり、それが直接的には福祉とつながらなくても同じ地域に住む人々とのコミュニケーションを深く広く進めることが大事と考える。
トリクミ名：－
もともっと情報発信の場を充実していく事が必要と考える。 特に団塊世代の活用がどうしても大事と考える。

## ○その他

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）
担い手不足
トリクミ名：－
地域がつながる（つながれる） 事業展開 仕組みづくりは役所全体の仕事 ↑きっかけ          福祉だけではない！！

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）
－
トリクミ名：－
社会福祉法人ライフレスキュー事業を立ち上げることで地域に貢献させる 社会福祉法人の専門家の役割が今、人手不足で困っている。

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）
若い人達が自然に福祉活動を手助け出来るようにする
トリクミ名：－
バーチャル的な取り組みも必要。パソコン、インターネット          ゲーム感覚

## <情報・PR>-----

### 小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）

- (1) 民生委員、児童委員がかかわる高齢者には、情報より支援がいろいろ届くが、家族と暮らされている方は、支援が必要と家族が思っても、どこへ相談したらよいかかわからないというお話を耳にすることが多い
- (2) いろんな高齢者施設があるが、どこにあり、どういう人が利用でき、どういう施設かわからないと言われる方も多くおられる

### トリクミ名：－

- (1) 広報等でのお知らせでもなかなか情報は伝わりにくいので、相談しやすいような取り組みがほしい  
例えば：自治区で気軽に相談できるような窓口を開放してはどうか！
- (2) 小郡市の福祉マップ等をつくり、詳しく説明文を入れ全世帯に配布する

### 小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）

- ・困っている人が相談するところを知らない人が多くいる
- ・近年は個人情報の兼ね合いにて、なかなか困り事を表に出したりする機会も少なくなっている

### トリクミ名：－

福祉サービスはこういうところもあるよ、地域サービスはこういうところがあるよ、という啓発や紹介を行う

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）

組織が多くあり、色んな取り組みをされているが、その取り組みをまとめている場がないようです。

トリクミ名：－

各組織の内容を把握する場や、地域公民館での取組等も情報を発信するといいかないと思いました。

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）

いろんな福祉の情報のPR・啓発をしてもっと周知をしたほうが良い

トリクミ名：－

広報・ホームページ等

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）

地域の取組に参加していない人の情報がつかめない

ドアの向こうのことは何もわからない

トリクミ名：－

－

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）

各種ボランティアの市民への紹介不足

トリクミ名：－

－

## <施設、設備>-----

### ○障がい者

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）
あすてらすの大ホールを障がい者団体で使いたいが、以前断られた（ペタンク等で使えないのかな）
トリクミ名：たのしく使えるアステラス
障がい者総合福祉センター的な活動ができる様にあすてらすがなればと思う（規則を見直す）

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）
あすてらすの使用の決まりが厳しく、利用しにくい
トリクミ名：共生社会って何だろう！
障がい者のプール利用、高齢者のカラオケ等利用時間や使い方をもう少し臨機応変にしてほしい

### ○子ども

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）
幼児の遊ぶ場（キッズルーム）などが小郡市には少ない。 あすてらすのキッズルームを充実してはどうか （現在のキッズルームは床が固い。0～3歳の子には遊ばせにくい）
トリクミ名：－
あすてらすに充実したキッズルームをつくる。 誰もが来られるように！！

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）
子どもが遊べるような場がほしい。 （公園でボール遊びができない）
トリクミ名：－
－

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）
子育て支援施設あるけれど、より充実してほしい （あすてらすキッズルームより内容充実を）
トリクミ名：－
－

## ○多世代交流

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）
お年寄りと子どもの交流ができない
トリクミ名：－
保育園、学校、お年寄りの施設等を近くに作る。互いの交流を。

## ○その他

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）

- ・小郡市の中心としているところがない。施設の分散がある
- ・皆さんが（市民）集う大きい施設がない。コンサートなどを多くしたらどうか

トリクミ名：－

- ・宿泊施設（ホテル）等が欲しい
- ・家族が寄り集まる場所として、核家族化で部屋が少ない家が多い

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）

－

トリクミ名：－

老人福祉施設、障がい者福祉施設を回っているが、冬の時期はインフルエンザ予防のためと出入りを断られる。第一線の人は理解があるが、上司、幹部の理解が足りない。

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）

高齢者（自立していない）障がい者などにやさしい娯楽施設（カラオケなど）をつくってほしい

トリクミ名：－

イオン小郡の使われていない所など活用してもらったら、バリアフリーになっているからできやすいのではないか？

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）
小郡市に、子ども・高齢者とも活用できるプールの設置
トリクミ名：－
－

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）
人が集まる場所として公園を各区1ヶ所ずつは造ってほしい。
トリクミ名：－
－

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）
福祉ではないかもしれませんが、都市開発が市街化調整区域にはなされておらず、人口減少が着実に進んでいる一方、片方では年々増加し、施設が不足しているところもある一行政のあり方
トリクミ名：－
－

**<防災>**-----

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）
小郡で大きな災害があった時の取りくみ方
トリクミ名：－
災害時の避難訓練を年二回ぐらい行う

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）

防災に対して、高齢者やひとり暮らしの不安

トリクミ名：－

小地域で見守りできるように、リーダーを決めたらどうか？

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）

◎災害時等の隣近所の声かけがうすい。常日頃から市が中心になりいざという時の動き等を指導  
（昨年の水害から考えても周りからの（区、隣組）情報、声かけなし）  
スマホの災害時のメールで知る位

トリクミ名：防災コミュニティ

◎防災訓練等一回もない。  
これだけ自然災害が多い国  
一人ひとりの心構えが大事だが、地域で年一回位は実施が必要と思う。

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）

災害時の援助方法を具体的に取り決め。予行演習を行う

トリクミ名：－

－

## <市役所・社会福祉協議会>-----

### ○連携

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）
・福祉課や各課との連携した会議がされて（各団体）ないのでは。 ・小郡市保育協会の会議に市からも参加して、遊戯会を3～4年で12保育園を文化ホールでされたらいいけどな？
トリクミ名：－
－

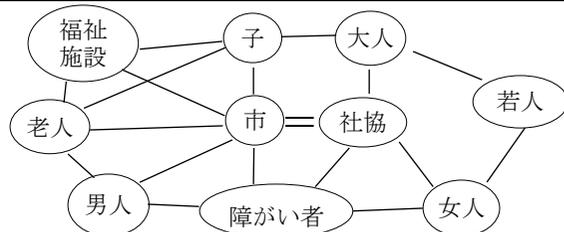
小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）
行政が横のつながりを強くしてほしい
トリクミ名：－
大局的な大きな視点で小さなことを大切にする

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）
・行政の各課の連携が十分でない。 もっとていねいにわかりやすく市民の方に伝えていくことが大切
トリクミ名：－
－

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）

- ・市の細分化を横の連携へつなげる
- ・市と福祉（ボランティア）団体の連携
- ・子ども（赤ちゃん）から老人までの福祉のつながりを市・社協がつかないでほしい

トリクミ名：－



## ○窓口

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）

窓口がいろいろあってわからない

トリクミ名：地域コンシェルジュ

〇〇をどこに 誰にきいたらいいかわからない。

コンシェルジュがすべての窓口になる

メリット：何に問題があるのか行政が明確にわかる

お年寄り、困っている方が気軽に話に行ける

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）

相談窓口がわからない。どこに行ったらいいのか

トリクミ名：－

市役所にコンシェルジュ的な人（場所）を置いたらどうか

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）

市役所に自由に行き行政に提案できる窓口にしてほしい

トリクミ名：－

サラリーマンを経験して、職員になるともっと違った方向に目が向くのでは、と思いますが。

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）

行政窓口の横のつながりが少ない

人材不足ではないでしょうか

トリクミ名：－

人と人とのつながりを作る方法を考える

## <その他>-----

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）

この時間では、問題提案をするほどまでいきませんでした。

トリクミ名：－

議論は、老人が外にて、会議であるとか、それぞれの人生をふまえて活動し、家に閉じこもった人生はよくないと・・・では、このワークショップで取り組むことについてよく理解できず終了でした。

小郡市の福祉で“もっとよくしたいところ”（弱み）

若い人たちが住みたいと思えるような援助をしてほしい

トリクミ名：－

若い人たちの意見を聞く機会を持ってほしい

---

## 6 市民団体ワークショップ 参加団体リスト

---

## 市民団体ワークショップ 参加団体リスト

高齢者福祉分野	ボランティア連絡協議会	ボランティア情報センター登録団体
小郡市社会事業協会	小郡要約筆記の会「たなばた」	小郡レク健康隊
長生会	小郡手話の会	美藤会
子育て支援分野	宝満演芸倶楽部「鶴乃会」	小郡プロバスクラブ方言研究委員会
井筒会	小郡市個人ボランティア連絡会	三沢遺跡の森を育む会
みくに福祉会	おもやい広場 くまさん文庫	健康ヨガ教室
健晴会	傾聴ボランティア「でんでん虫」	踊る隣組
障がい児・者福祉分野	おごおり☆防災士会	市内関係団体・ボランティア団体
こぐま福祉会	小郡テープの会	民生委員児童委員協議会
サポネットおごおり		各校区協働のまちづくり協議会 健康福祉部会
大智會		小郡市健康を守る母の会
みんなのかえるランド		あすてらすヘルスプロモーション